

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)



学校法人 順天堂

順天堂大学 4キャンパス6附属病院群

練馬病院



順天堂越谷病院



さくらキャンパス
スポーツ健康科学部
(医学部1年生)
スポーツ健康科学研究科



本郷・お茶の水キャンパス
大学・大学院・法人本部
医学部(2~6年生)
国際教養学部
保健医療学部
3大学院研究科
順天堂医院(医院の名を継承しています)



浦安病院



三島キャンパス
保健看護学部
医療看護学研究科



静岡病院



順天堂東京江東
高齢者医療センター



浦安キャンパス
医療看護学部
医療看護学研究科



<https://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章

B 法人章

「意匠登録」：1996(平成8)年

A法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章：佐藤の“サ”又はA 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957(昭和32)年制定>



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2021年 順天堂創立183周年

開塾：1838年（天保9年）



順天堂の沿革



順天堂は、江戸後期の天保9(1838)年、今から183年前に学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀に設立したオランダ医学塾・和田塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を発展させました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、明治8(1875)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は欧文誌、Juntendo Medical Journal:JMJとして)』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。**第三代堂主となった佐藤進**は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院

長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代学長、次いで理事長として、その発展を支えました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開学しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実に努めました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護取締(総婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして、**第九代堂主(理事長)・小川秀興**は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果、

- 1.平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。
- 2.平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。

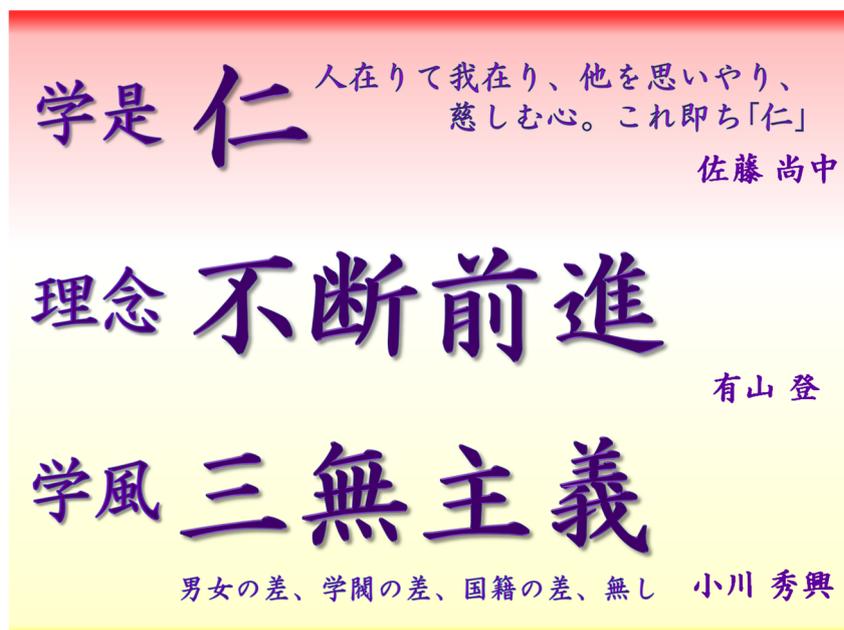
- 3.平成 19 (2007) 年、医療看護学部に大学院医療看護学研究科・修士課程が開設されました。
- 4.平成 22 (2010) 年、第 4 の学部として保健看護学部 (静岡県三島市) が開設されました。
- 5.平成 25 (2013) 年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院 医学研究科・修士課程が開設されました。
- 6.平成 14 (2002) 年 6 月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成 16 (2004) 年 4 月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第 5 番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。
- 7.加えて、練馬区も病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から学校法人順天堂が選定され、平成 17 (2005) 年、順天堂第 6 番目の医学部附属病院「練馬病院」が開院されました。
- 8.大学内に文部科学省 (文部省) などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として、以下のセンター・研究所が設立されました。
 - ①平成 10 (1998) 年:アトピー疾患研究センター
 - ②平成 11 (1999) 年:疾患モデル研究センター
 - ③平成 12 (2000) 年:老人性疾患病態・治療研究センター
 - ④平成 14 (2002) 年:環境医学研究所
 - ⑤平成 15 (2003) 年:感染制御科学研究センター
 - ⑥平成 17 (2005) 年:スポーツ健康医科学研究所
 - ⑦平成 19 (2007) 年:スポーツロジックセンター
 - ⑧平成 20 (2008) 年:国際交流センター
 - ⑨平成 25 (2013) 年:ゲノム・再生医療センター
 - ⑩平成 25 (2013) 年:先導的がん医療開発研究センター
 - ⑪平成 26 (2014) 年:女性スポーツ研究センター
 - ⑫平成 27 (2015) 年:静岡災害医学研究センター
 - ⑬平成 28 (2016) 年:難病の診断と治療研究センター
 - ⑭平成 29 (2017) 年:革新的医療技術開発研究センター (オープンイノベーション「GAUDI」)
 - ⑮令和元 (2019) 年:順天堂かゆみ研究センター
 - ⑯令和 3 (2021) 年:ジェロントロジー研究センター
- 9.平成 26 (2014) 年 12 月国際的に活躍する人材養成を目的として第 5 の学部となる「国際教養学部」の設置認可を受け、平成 27 (2015) 年 4 月開設し、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。
- 10.平成 30 (2018) 年 8 月高齢化の進展及び医療機器の高度化に伴い、人材ニーズがますます高まっている理学療法士及び診療放射線技師の養成を目的として第 6 の学部となる「保健医療学部」の設置認可を受け、平成 31 (2019) 年 4 月に開設しました。

11. 令和元(2019)年7月外国人患者の急増に対応すべく、順天堂医院に国際診療部を設置しました。

12. 平成17(2005)年度に開設した寄付講座及び平成28(2016)年度に開設された共同研究講座は年々増加し、令和2(2020)年度には共同研究講座39件、寄付講座13件の計52講座が設置されています。また産学連携の更なる充実を図るために、産学協同研究講座制度を新たに開設しました。

順天堂は、附属6病院合計で総病床数3,533床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。附属6病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発展させつつ、総合力に秀でた医療機関として、全国そして国際診療部の設置など国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

現在、国際連携大学・研究所としては、北京大学、第四軍医大学(西安)、中国医科大学、中日友好医院(北京)、タイ国立皮膚病学研究所(バンコク)、ベトナム軍医大学、メイヨークリニック、MDアンダーソンがんセンター、シャリテ医科(ベルリン)大学などがあり、国際交流協定校も約70校に達し、海外からの留学生・研究生は増え続けています。



本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校、国籍、性別の差別のない“三無主義”を学风として掲げ、6学部3研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2021年5月15日(創立記念日)

学校法人 順天堂

理事長 小川 秀興

1. 法人の設置する学校

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	平成24. 11. 大学院医学研究科（修士課程）設置認可。 平成25. 4. 同 開設。
		博士課程	昭和34. 3. 大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	昭和46. 3. 大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4. 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	平成11. 12. 大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	平成18. 11. 大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19. 4. 同 開設。 平成26. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程	平成25. 10. 大学院医療看護学研究科（博士後期課程）設置認可。 平成26. 4. 同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年（1838年）西洋医学塾開塾。以降、江戸（薬研堀）から佐倉（千葉）、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18. 12. （財）順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5. （財）順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2. （学）順天堂医科大学認可。 昭和26. 6. 順天堂大学体育学部Ⅱ類（医学進学コース）開設。 昭和27. 2. 新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4. 順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6. 体育学部Ⅰ類（体育学専攻、健康教育専攻）開設。 昭和46. 1. 体育学部（体育学科、健康学科）設置認可。 平成 4. 12. スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4. 体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			（看護教育沿革） 明治29. 10. 順天堂医院看護婦養成所開設。 昭和29. 4. 順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3. 同高等看護婦学校開設。 昭和38. 4. 順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51. 11. 順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元. 4. 順天堂医療短期大学開設。 平成15. 11. 医療看護学部設置認可。 平成16. 4. 順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6. 同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21. 6. 保健看護学部設置届出。 平成21. 9. 学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21. 10. 保健師看護師学校指定。 平成22. 4. 保健看護学部開設。
	国際教養学部 国際教養学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成26. 12. 国際教養学部設置認可。 平成27. 4. 同 開設。
	保健医療学部 理学療法学科 診療放射線学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成30. 8. 保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科設置認可。 平成31. 4. 同 開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,051床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	577床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	785床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	404床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
練馬病院	平成 17. 7. 1	429床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合計		3,472床	

※病床数は令和3年3月31日現在の稼働数

3. 研究科・学部一覧

研究科・学部・学科名称		取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士（医科学） 博士（医学）	服部 信孝
	スポーツ健康科学研究科	修士（スポーツ健康科学） 博士（ " ）	内藤 久士
	医療看護学研究科	修士（看護学） 博士（ " ）	植木 純
学部	医学部 医学科	学士（医学）	服部 信孝
	スポーツ健康科学部	学士（学位名は下記のとおり）	吉村 雅文
	スポーツ科学科	学士（スポーツ科学）	中村 充
	スポーツマネジメント学科	学士（スポーツマネジメント学）	廣津 信義
	健康学科	学士（健康学）	久保原 禅
	医療看護学部 看護学科	学士（看護学）	植木 純
	保健看護学部 看護学科	学士（看護学）	大熊 泰之
	国際教養学部 国際教養学科	学士（国際教養学）	加藤 洋一
	保健医療学部	学士（学位名は下記のとおり）	代田 浩之
	理学療法学科	学士（理学療法学）	藤原 俊之
診療放射線学科	学士（放射線技術学）	京極 伸介	

4. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長	開設時の文部科学省補助事業	開設年月日	初代センター長
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア推進事業	平成 10. 11. 19	小川 秀興
疾患モデル研究センター	服部 信孝	学術フロンティア推進事業	平成 11. 4. 1	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 12. 3. 21	水野 美邦
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 14. 9. 19	小川 秀興
研究基盤センター	服部 信孝	—	平成 15. 10. 1	木南 英紀
スポーツ健康医科学研究所	内藤 久士	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 17. 10. 1	小川 秀興
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 19. 4. 24	小川 秀興
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1	小川 秀興
ゲノム・再生医療センター	新井 一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 25. 10. 1	新井 一
先導的がん医療開発研究センター	服部 信孝	研究拠点形成費等補助金	平成 25. 11. 1	新井 一
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 26. 8. 1	小笠原悦子
静岡災害医学研究センター	佐藤 浩一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 27. 10. 1	佐藤 浩一
難病の診断と治療研究センター	岡崎 康司	—	平成 28. 4. 1	新井 一
ジェロントロジー研究センター	佐藤 信紘	—	令和 3. 1. 1	佐藤 信紘

5. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

研究科・学部・学科名称		修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3							
						1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
大学院	医学研究科	修士課程	2年	40	64	70	102	63 (40)	39 (30)	-	-	-	-
		博士課程	4年	180	162	620	645	159 (180)	166 (160)	165 (140)	155 (140)	-	-
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2年	61	62	122	113	60 (61)	53 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	24	30	50	18 (10)	19 (10)	13 (10)	-	-	-
	医療看護学 研究科	博士前期課程	2年	25	24	45	50	23 (25)	27 (20)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	10	27	35	10 (10)	11 (10)	14 (7)	-	-	-
大学院 計				326	346	914	995	333 (326)	315 (291)	192 (157)	155 (140)	-	-
学部	医学部 医学科		6年	135	135	809	819	133 (135)	142 (140)	141 (140)	137 (137)	134 (130)	132 (127)
	スポーツ健康科学部		4年	410	419	1,640	1,628	418 (410)	405 (410)	401 (410)	404 (410)	-	-
	スポーツ科学科		4年	250	255	1,000	992	255 (250)	247 (250)	243 (250)	247 (250)	-	-
	スポーツマネジメント学科		4年	80	82	320	318	81 (80)	79 (80)	79 (80)	79 (80)	-	-
	健康学科		4年	80	82	320	318	82 (80)	79 (80)	79 (80)	78 (80)	-	-
	医療看護学部 看護学科		4年	200	202	800	800	203 (200)	198 (200)	197 (200)	202 (200)	-	-
	保健看護学部 看護学科		4年	120	124	480	488	123 (120)	125 (120)	119 (120)	121 (120)	-	-
	国際教養学部 国際教養学科		4年	240	241	720	723	246 (240)	232 (240)	115 (120)	130 (120)	-	-
	保健医療学部		4年	240	242	480	483	241 (240)	242 (240)	-	-	-	-
	理学療法学科		4年	120	121	240	242	121 (120)	121 (120)	-	-	-	-
診療放射線学科		4年	120	121	240	241	120 (120)	121 (120)	-	-	-	-	
学部 計				1,345	1,363	4,929	4,941	1,364 (1,345)	1,344 (1,350)	973 (990)	994 (987)	134 (130)	132 (127)

※1 入学者欄は令和2年4月に入学した学生数

※2 在籍者欄は令和3年3月31日における学生数

※3 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

6. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	新井 一	学長
	木南 英紀	学長特別補佐
	服部 信孝	医学部長、大学院医学研究科長
	吉村 雅文	スポーツ健康科学部長
	植木 純	医療看護学部長、大学院医療看護学研究科長
	大熊 泰之	保健看護学部長
	加藤 洋一	国際教養学部長
	代田 浩之	保健医療学部長
	内藤 久士	大学院スポーツ健康科学研究科長
	高橋 和久	順天堂医院長
	佐藤 浩一	静岡病院長
	吉田 幸洋	浦安病院長
	高崎 芳成	順天堂越谷病院長
	津田 裕士	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	練馬病院長
	宮野 武	練馬病院名誉院長
	高森 建二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐藤 信紘	大学院医学研究科ジェロントロジー研究センター長
	天野 篤	大学院医学研究科教授
	多田 宏	非常勤
永田 良一	非常勤	
監事	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

7. 評議員

<選任条項順に記載>

児島 邦明 吉田 幸洋 佐藤 浩一 村上 晶 金子 和夫 坂本 一博 内藤 久士
 青木 和浩 加藤 洋一 島内 憲夫 細谷 芳三 幅下 貞美 小林 忠彦 桑鶴 良平
 佐藤 潔 長岡 功 高森 建二 代田 浩之 中澤 真逸 濱野 光之 土屋 清子
 小川 秀興 新井 一 服部 信孝 吉村 雅文 大熊 泰之 高橋 和久 多田 宏
 佐藤 信紘 木南 英紀 宮野 武 三橋 直樹 高崎 芳成 津田 裕士 天野 篤
 植木 純 丸木 親 奥村 康 岡田 隆夫 稲富 恵子 澤木 啓祐 青木きよ子
 永田 良一 照沼 則子 工藤 綾子 (計 45名)

8. 教職員数

(1) 教員数

(令和3年3月31日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大 学 院	231	14	54	5	58	4	366	241	607
(内訳)									
医学研究科	195	11	53	5	56	3	323	172	495
スポーツ健康科学研究科	21	2	0	0	2	1	26	11	37
医療看護学研究科	15	1	1	0	0	0	17	58	75
学 部	46	114	345	35	402	438	1,380	2,882	4,262
(内訳)									
医 学 部	5	84	284	15	342	434	1,164	2,511	3,675
スポーツ健康科学部	5	13	18	2	15	3	56	129	185
医療看護学部	0	5	19	2	28	0	54	64	118
保健看護学部	12	4	4	8	8	1	37	54	91
国際教養学部	13	2	13	3	3	0	34	108	142
保健医療学部	11	6	7	5	6	0	35	16	51
法人・総務局	1	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	278	128	399	40	460	442	1,747	3,123	4,870

※上記内、併任教員数

教員数合計(本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	176	50	1	27	254
学部本務教員内 大学院併任教員	4	368	14	28	414

	教員数
大学院	1,021
学 部	4,516

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
746	16	4,812	37	65	5,676

教職員合計
10,547

<参考：令和2年度臨床研修医受入数（括弧内は令和2年度新規受入数）>

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
95 (44)	52 (29)	84 (40)	66 (36)	297 (149)

9. 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費助成事業

研究種目名	区分	採択件数 (件)		直接経費 (千円)		間接経費 (千円)	
新学術領域研究 (研究領域提案型)	新規	6	8	10,500	61,900	3,150	18,570
	継続	2		51,400		15,420	
基盤研究(A)	新規	1	4	20,800	45,900	6,240	13,770
	継続	3		25,100		7,530	
基盤研究(B)	新規	14	41	59,900	152,400	17,970	45,720
	継続	27		92,500		27,750	
基盤研究(C)	新規	97	307	122,700	314,750	36,810	94,425
	継続	210		192,050		57,615	
若手研究	新規	82	207	111,400	230,500	33,420	69,150
	継続	125		119,100		35,730	
挑戦的研究(萌芽)	新規	3	8	7,700	17,900	2,310	5,370
	継続	5		10,200		3,060	
研究活動スタート支援	新規	12	21	13,200	24,100	3,960	7,230
	継続	9		10,900		3,270	
国際共同研究強化(A)	新規	1	1	10,900	10,900	3,270	3,270
	継続						
国際共同研究強化(B)	新規	1	8	1,600	28,000	480	8,400
	継続	7		26,400		7,920	
特別研究員奨励費	新規	1	8	2,100	7,255	0	1,006
	継続	7		5,155		1,006	
奨励研究	新規	3	3	1,440	1,440	0	0
	継続						
合 計	新規	221	616	362,240	895,045	107,610	266,911
	継続	395		532,805		159,301	

② 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)
卓越研究員事業	1	2,000
合 計	1	2,000

③ 文部科学省：大学改革推進等補助金

事業名	採択件数(件)	決定額(千円)
大学・大学院及び附属病院における人材養成機能強化事業（基礎研究医養成活性化プログラム）	1	168
合計	1	168

④ 厚生労働省：厚生労働科学研究費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
厚生労働科学特別研究事業	3	33,081	6,943
女性の健康の包括的支援政策研究事業	1	4,400	1,000
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	1	1,694,000	264,000
エイズ対策政策研究事業	1	11,077	3,323
地域医療基盤開発推進研究事業	1	3,847	1,153
労働安全衛生総合研究事業	1	2,310	690
合計	8	1,748,715	277,109

⑤ 厚生労働省：労災疾病臨床研究事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
労災疾病臨床研究事業費	2	17,688	5,302
合計	2	17,688	5,302

⑥ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構：医療研究開発推進事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
中央 IRB 促進事業	1	7,800	2,340
合計	1	7,800	2,340

(2) 委託費

① 文部科学省：女性アスリート育成・支援プロジェクト

プログラム名	採択件数(件)	直接経費(千円)	一般管理費(千円)
女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究	1	10,000	1,000
合計	1	10,000	1,000

② 厚生労働省

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
認定再生医療等委員会の審査の質向上事業	1	36,905	0
合計	1	36,905	0

③ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構：医療研究開発推進事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	3	60,500	18,150
創薬基盤推進研究事業	2	75,077	13,523
再生医療実用化研究事業	2	117,584	35,275
再生医療実現拠点ネットワークプログラム	3	62,200	18,660
次世代がん医療創成研究事業	1	26,238	7,872
長寿・障害総合研究事業	1	7,000	1,050
脳科学研究戦略推進プログラム	1	9,246	2,774
脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	1	15,000	4,500
戦略的国際脳科学研究推進プログラム	2	110,000	33,000
難治性疾患実用化研究事業	4	65,290	19,587
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	2	16,944	5,083
腎疾患実用化研究事業	1	7,280	2,184
免疫アレルギー疾患実用化研究事業	1	10,000	3,000
革新的先端研究開発支援事業	1	1,839	552
ウイルス等感染症対策技術開発事業	1	38,000	11,400
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業	1	5,000	1,500
ゲノム創薬基盤推進研究事業	1	30,000	9,000
臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業	1	42,300	12,690
合計	29	699,498	199,800

④ 国立研究開発法人科学技術振興機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
未来社会創造事業	1	15,384	4,615
研究成果展開事業 (COI)	1	24,450	6,113
ムーンショット型研究開発事業	1	13,069	3,921
合計	3	52,903	14,649

⑤ 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
希少疾病用再生医療品等開発支援事業	1	41,392	6,208
合計	1	41,392	6,208

⑥ 国立医薬品食品衛生研究所

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業	1	2,308	692
合計	1	2,308	692

10. 寄付講座

寄付講座名	寄付者	設置期間	責任者等
プロバイオティクス研究 (ヤクルト) 講座	株式会社ヤクルト本社	H17. 4. 1 ～R3. 3. 31	医学研究科 特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	(非公開)	H18. 4. 1 ～R5. 3. 31	代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	H23. 5. 1 ～R5. 3. 31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
運動障害疾患病態研究・ 治療講座	日本メドトロニック株式会社 ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 協和キリン株式会社 日本パーリンガーインゲルハイム株式会社 アッヴィ合同会社 (1社非公開)	H24. 4. 1 ～R3. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	テルモ株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社カネカメディックス 日本メドトロニック株式会社	H24. 8. 1 ～R3. 7. 31	脳神経外科学 名誉教授 新井 一
パーキンソン病病態解明 研究講座	大塚製薬株式会社 山岸広太郎 アッヴィ合同会社 Meiji Seika ファルマ株式会社 小野薬品工業株式会社 富士フィルム和光純薬株式会社	H25. 4. 1 ～R4. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
遺伝子疾患先端情報学講 座	大塚製薬株式会社 ジェネシスヘルスケア株式会社 日本新薬株式会社 株式会社食文化 ロート製薬株式会社	H26. 4. 1 ～R5. 3. 31	泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
多発性硬化症および神経 難病治療・研究講座	大原薬品工業株式会社 小野薬品工業株式会社 旭化成メディカル株式会社 田辺三菱製薬株式会社 日本製薬株式会社 アッヴィ合同会社	H26.10. 1 ～R2. 9. 30	神経学 教授 服部 信孝
ジェロントロジー : 医学・健康学応用講座	株式会社東急不動産 R&D センター 東急不動産株式会社 株式会社東急イーライフデザイン	H27. 1. 1 ～R2.12. 31	特任教授 佐藤 信紘
心血管睡眠呼吸医学講座	フィリップス・レスピロニクス合同会社 フクダ電子株式会社 レスメド株式会社	H27. 4. 1 ～R3. 3. 31	循環器内科学 特任教授 代田 浩之

寄付講座名	寄付者	設置期間	責任者等
運動器・腫瘍性疾患病態学講座	中外製薬株式会社 サントリーウェルネス株式会社 久光製薬株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社太田胃散 大正製薬株式会社 ジンマー・バイオメット合同会社	H27. 4. 1 ～R3. 3. 31	整形外科・運動器医学 特任教授 金子 和夫
乳酸菌生体機能研究講座	明治ホールディングス株式会社	H27. 4. 1 ～R3. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
糖尿病治療標的探索医学講座	(非公開)	H28. 4. 1 ～R4. 3. 31	代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
腸内フローラ研究講座	森永乳業株式会社	H29. 4. 1 ～R4. 3. 31	特任教授 佐藤 信紘
マイクロバイオーム研究講座	アサヒグループホールディングス株式会社	H30. 3. 1 ～R6. 2. 28	医学研究科 研究科長 服部 信孝
免疫診断学講座	株式会社エスアールエル	H30. 4. 1 ～R3. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
神経疾患病態構造学講座	武田薬品工業株式会社	H30. 4. 1 ～R3. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
先進血液病態学講座	ファーマエッセンシアジャパン株式会社	R 3. 3. 1 ～R6. 2. 29	血液学 教授 小松 則夫

※責任者等の職制は、令和3年3月31日の現職を記載

11. 共同研究講座

共同研究講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
戦略的手術室改善マネジメント講座	株式会社ホギメディカル	H28. 10. 1 ～R3. 9. 30	心臓血管外科学 教授 天野 篤
次世代血液検査医学講座	シスメックス株式会社	H28. 12. 1 ～R4. 11. 30	次世代血液検査医学講座 特任教授 田部 陽子
次世代細胞・免疫治療学講座 (江川記念 SETA 講座)	医療法人社団滉志会	H29. 4. 1 ～R4. 3. 31	学 長 新井 一
オートファジー調節化合物探索研究講座	大日本住友製薬株式会社	H29. 4. 1 ～R5. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
居住環境神経生理学研究講座	株式会社フジタ	H29. 7. 1 ～R5. 3. 31	病院管理学 教授 小林 弘幸
創傷治癒学先端研究講座	佐藤製薬株式会社	H29. 10. 1 ～R4. 9. 30	形成・再建外科学 教授 水野 博司
認知症診断・予防・治療学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H30. 1. 1 ～R5. 12. 31	神経学 教授 服部 信孝
免疫病・がん先端治療学講座	キッセイ薬品工業株式会社	H30. 4. 1 ～R3. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
グラノーラ健康科学・予防医学講座	カルビー株式会社	H30. 5. 1 ～R3. 4. 30	心臓血管外科学 教授 天野 篤
抗加齢皮膚医学研究講座	株式会社ファンケル総合研究所	H30. 6. 1 ～R3. 5. 31	環境医学研究所 特任教授 高森 建二
データサイエンス推進講座	株式会社 4DIN	H30. 12. 1 ～R3. 11. 30	放射線診断学 教授 桑鶴 良平
神経変性・認知症疾患共同研究講座	キリンホールディングス株式会社 グローリー株式会社 日本生命保険相互会社 三菱 UFJ 信託銀行株式会社	H30. 12. 1 ～R3. 11. 30	神経学 教授 服部 信孝
オルガノイド開発研究講座	エーザイ株式会社	H31. 4. 1 ～R4. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
循環器遠隔管理学講座	パラマウントベッド株式会社	R1. 5. 1 ～R4. 4. 30	循環器内科学 特任教授 代田 浩之

共同研究講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
超高精細画像医療応用講座	(非公開)	R1. 6. 1 ～R4. 5. 31	特任教授 佐藤 信紘
ICT 制御に基づく在宅医療開発講座	株式会社サンウェルズ	R1. 10. 1 ～R4. 9. 30	神経学 教授 服部 信孝
デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座	株式会社フィリップス・ジャパン 東邦ホールディングス株式会社 旭化成株式会社 インターリハ株式会社	R1. 11. 1 ～R4. 10. 31	保健医療学部 学部長 代田 浩之
腸内細菌療法研究講座	キリンホールディングス株式会社	R1. 12. 1 ～R4. 11. 30	消化器内科学 教授 永原 章仁
先端予防医学・健康情報学講座	株式会社クレディセゾン	R2. 1. 1 ～R4. 12. 31	総合診療科学 教授 内藤 俊夫
集団感染予防学講座	大幸薬品株式会社	R2. 1. 1 ～R4. 12. 31	小児思春期発達・病態学 教授 清水 俊明
パーキンソン病治療薬開発講座	大原薬品工業株式会社 株式会社 PARKINSON Laboratories	R2. 4. 1 ～R5. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
デジタル医療講座	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	R2. 5. 1 ～R5. 4. 30	眼科学 教授 村上 晶
脳機能代謝研究講座	テルモ株式会社 株式会社フィリップス・ジャパン アンファー株式会社 株式会社メディカライン 日本メドトロニック株式会社 日本ストライカー株式会社 Integra Japan 株式会社 (1 社非公開)	R2. 5. 1 ～R5. 4. 30	脳神経外科学 教授 近藤 聡英
リアルワールドエビデンス評価研究講座	株式会社新日本科学	R2. 6. 1 ～R5. 5. 31	放射線診断学 教授 桑鶴 良平
気分障害分子病態学講座	大日本住友製薬株式会社	R2. 10. 1 ～R5. 9. 30	精神・行動科学 教授 加藤 忠史
アフェレシス治療技術と生命科学講座	旭化成メディカル株式会社	R2. 10. 1 ～R5. 9. 30	膠原病・リウマチ内科学 教授 山路 健
スポーツ医学・再生医療講座	セルソース株式会社	R2. 11. 1 ～R5. 10. 31	医学研究科 研究科長 服部 信孝

共同研究講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
健康寿命学講座	株式会社カーブスジャパン	R2. 11. 1 ～R5. 10. 31	スポーツロジセンター 特任教授 河盛 隆造
マルチスケール脳構造イメージング講座	株式会社ニコンソリューションズ	R2. 11. 1 ～R5. 10. 31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
高齢者身体運動機能研究開発講座	株式会社ハーフ・センチュリー・モア	R2. 12. 1 ～R5. 11. 30	病院管理学 教授 小林 弘幸
パーキンソン病臨床データ解析研究講座	小野薬品工業株式会社	R3. 1. 1 ～R5. 12. 31	神経学 教授 服部 信孝
骨髄増殖性腫瘍治療薬開発講座	Meiji Seika ファルマ株式会社	R3. 2. 1 ～R6. 1. 31	血液学 教授 小松 則夫

※責任者等の職制は、令和3年3月31日の現職を記載

12. 授業料等学生が納付する金額

(単位：円)

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000
		修士課程	200,000	400,000	150,000	-	-	750,000
	スポーツ健康科学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	
	医療看護学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	-	2,900,000
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000
	スポーツ健康科学部	200,000	700,000	300,000	-	150,000	1,350,000	
	医療看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000※2	-	1,850,000	
	保健看護学部	300,000	900,000	300,000	140,000※3	-	1,640,000	
	国際教養学部	300,000	1,000,000	-	-	250,000	1,550,000	
	保健医療学部	300,000	1,000,000	300,000	150,000※4	-	1,750,000	

※1 入学時のみ、※2 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

※3 2年次以降は420,000円、※4 2年次以降は480,000円

13. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

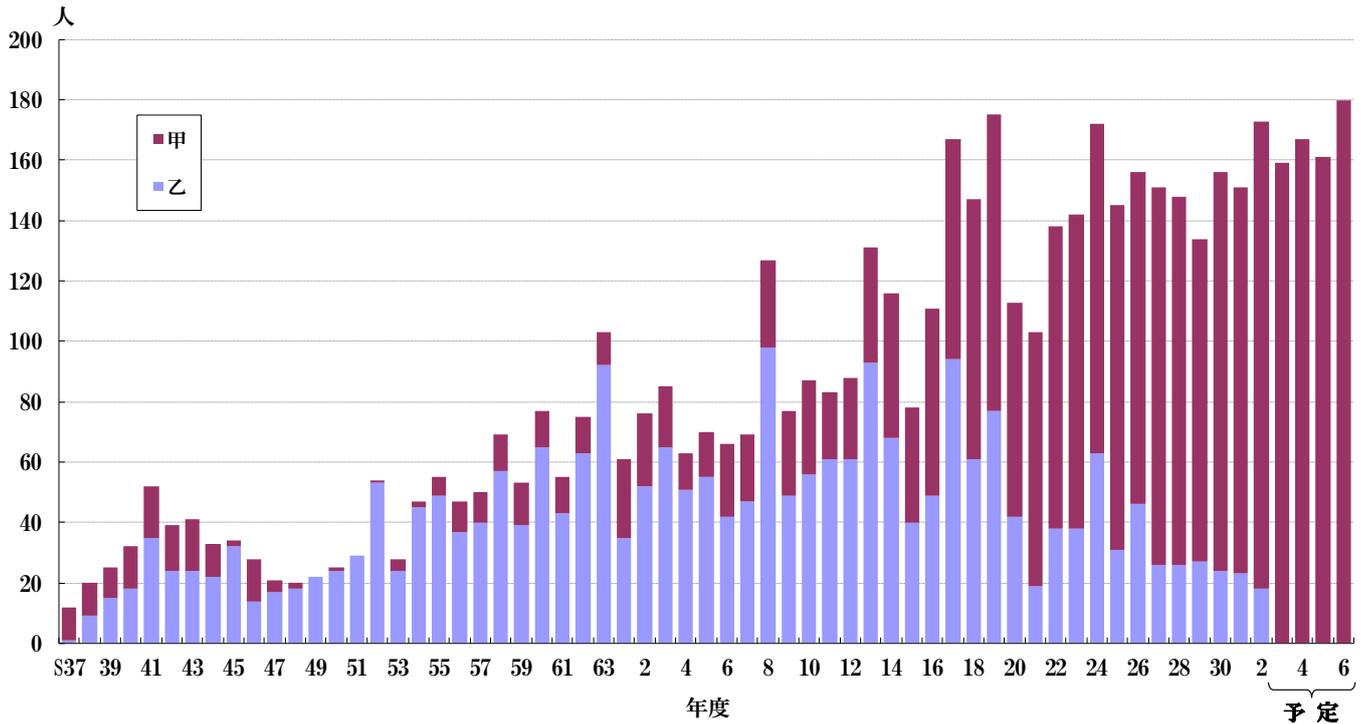
(単位:名)

区 分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	120	120	140	140	
” 入学者数 (”)	127	142	140	160	
博士 (医学) 甲 学位記授与数	107	132	128	155	《2,419》
満期退学後学位取得者数	0	0	0	0	
博士 (医学) 乙 学位記授与数	27	24	23	18	《2,486》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	20	20	20	30	
” 入学者数 (”)	25	31	38	41	
修士 (医科学) 学位記授与数	26	29	35	40	《206》

令和3年3月

順天堂大学 博士 (医学) 学位授与者数推移

甲 2,419号 乙 2,486号 (計:4,905号)



◎ 平成29~令和2年度学位取得者

甲論文 (英文98.7%) 平均IF ≒ 3.402

乙論文 (英文94.6%) 平均IF ≒ 2.349

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	10	10	10	10	
” 入学者数 (”)	12	16	10	11	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数	7	20	3	8	《87》
満期退学後学位取得者数	1	1	0	0	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	3	0	1	1	《24》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
” 入学者数 (”)	56	67	61	56	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	51	64	59	51	《1,200》

大学院医療看護学研究科

(単位:名)

区 分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	7	7	7	7	
” 入学者数 (”)	11	7	6	10	
博士 (看護学) 甲 学位記授与数	7	6	5	7	《32》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	15	15	15	20	
” 入学者数 (”)	22	15	22	26	
修士 (看護学) 学位記授与数	22	16	20	25	《228》

14. 学部卒業生数

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位(学士)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	123 (37)	120 (38)	126 (39)	130 (37)	医専卒 《 319》 医科大卒 《 89》 学部卒 《5,379》 累計 《5,787》
スポーツ健康科学部		320 (102)	328 (103)	319 (103)	404 (158)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《7,992》 累計 《13,199》
スポーツ科学科	スポーツ科学	184 (52)	188 (52)	183 (54)	247 (98)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	66 (24)	69 (26)	68 (24)	79 (30)	
健康学科	健康学	70 (26)	71 (25)	68 (25)	78 (30)	
医療看護学部 看護学科	看護学	192 (182)	199 (193)	203 (198)	202 (191)	講習所 《1,182》 看護学院 《 29》 准看護婦学院 《 132》 高等看護学校 《 775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《2,589》 累計 《7,377》
保健看護学部 看護学科	看護学	119 (110)	124 (113)	119 (108)	121 (113)	累計 《 954》
国際教養学部 国際教養学科	国際教養学	—	105 (67)	114 (76)	117 (78)	累計 《 336》

15. 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業生数	
大学院	医学 研究科	博士 課程	大学・研究機関	95名	155名
			医療機関	41名	
			民間企業	8名	
			その他	11名	
		修士 課程	大学・研究機関	7名	40名
			医療機関	5名	
			民間企業	6名	
			進学	12名	
	スポーツ 健康科学 研究科	博士 後期 課程	教員・研究機関	7名	10名
			就職（民間企業・公務員等）	1名	
			その他	2名	
		博士 前期 課程	教員・研究機関	17名	51名
就職（民間企業・公務員等）			23名		
進学			5名		
その他			6名		
医療看護 学研究科		博士 後期 課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	1名	7名
	教員・研究機関		6名		
	その他		0名		
	博士 前期 課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	16名	25名	
		教員・研究機関	3名		
		進学	1名		
学部	医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院）	71名	130名	
		〃（他大学医学部附属病院）	6名		
		〃（大学病院以外の臨床研修指定病院）	47名		
		その他	6名		
	スポーツ 健康科学部	教員・研究機関	82名	404名	
		就職（民間企業・公務員等）	260名		
		進学	42名		
		その他	20名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院	180名	202名	
		本学以外の医療機関	14名		
		進学	6名		
		その他	2名		
	保健看護学部	本学医学部附属病院	85名	121名	
		本学以外の医療機関	35名		
		進学	1名		
		その他	0名		
	国際教養学部	教員・研究機関	4名	117名	
		就職（民間企業・公務員等）	89名		
		進学	13名		
		その他	11名		

16. 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

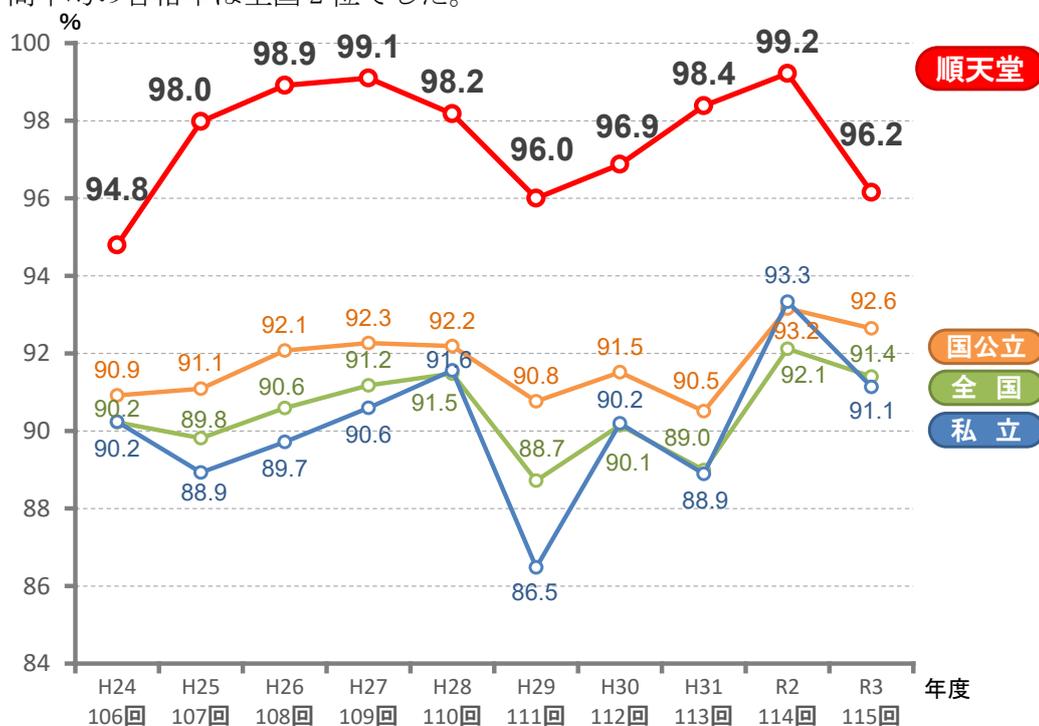
新型コロナウイルス感染症への対応について

授業については、令和2年度前期は全てオンラインで実施し、感染の状況を見極めながら後期からオンライン授業と対面授業を併用して実施しました。実習についても十分な感染対策のもと、後期から開始しました。入学式は中止することとなりましたが、卒業式は令和3年3月11日に実施し、保護者向けに式の様子をオンラインで配信しました。また「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応方針」を策定、都度内容の改訂を行い、全学生・教職員に周知徹底し、学生・教職員の安全・健康確保と感染拡大防止に努めました。

【大学院医学研究科・医学部】

医師国家試験合格率推移

今年度の第115回医師国家試験の合格率は96.2%で全国国公立大学80校中11位、直近10年間平均の合格率は全国2位でした。



医学研究科修士課程 遺伝カウンセリングコースの開講

大学院医学研究科修士課程の入学定員は令和2年4月から60名(20名増)となりました。また、修士課程は、従来の医科学コースと公衆衛生学コースに加え、遺伝カウンセリングコースを新たに開設し、3コース体制となりました。遺伝カウンセリングコースでは、日本遺伝カウンセリング学会と日本人類遺伝学会より認定遺伝カウンセラー養成課程として認定されており、修了後に認定遺伝カウンセラー認定試験の受験資格を得ることができます。遺伝カウンセリングの実践に必要な専門的知識、カウンセリング理論と技法を体得し、遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体制などの情報を提供して、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する、ゲノム医療に重要な役割を果たす人材を養成します。

ジェロントロジー研究センター設置

令和3年1月より、超高齢化社会における健康寿命延伸を図るための教育・研究・産学連携拠点として、大学院医学研究科ジェロントロジー研究センターが設置されました。超高齢社会を迎えた我が国において、健康寿命延伸が社会の命題となり、本学の健康寿命延伸に関する取組は産業界、自治体からの期待度が高く、特に健康寿命の延長、高齢者の就労・社会参加、変わる家族形態と機能、包括的な地域ケア・システム、高齢社会の新たな価値と産業の創成等が、教育・研究・産学連携の諸活動を通じて期待されています。ジェロントロジー研究センターでは、これらの取組の実装化を図り、超高齢社会における諸課題の検証を行っていきます。

【大学院スポーツ健康科学研究科・スポーツ健康科学部】

教員採用試験・就職率

教員採用試験は、現役生・既卒生合わせ、前年度を大きく上回る133名（補欠合格・私学含む）が合格しました。うち現役生の合格者数は50名でした。企業就職志望者227名の就職内定率は99.1%と、コロナ禍の厳しい環境の中にあり、依然高水準を維持しました。

国際交流活動の活性化

スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科では、国際化の更なる推進を目指して、北京体育大学とのZOOMによるオリンピック開催の状況などの意見交換会等の国際交流活動を実施しました。

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】

看護師・保健師・助産師国家試験合格率

医療看護学部は看護師国家試験合格率が過去5年間平均で98.9%と高水準を維持するとともに、助産師国家試験は合格率100%を継続しています。保健看護学部は看護師国家試験合格率100%を達成しました。

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	99.5%	96.5%	100%
保健看護学部	100.0%	94.3%	—
全国平均（参考）	90.4%	94.3%	99.6%

専門看護師認定実績

医療看護学研究科（博士前期課程）修了生7名が令和2年度専門看護師（CNS：Certified Nurse Specialist）認定試験に合格しました（慢性疾患看護分野2名、感染症看護分野2名、小児看護1名、精神看護1名、在宅看護1名）。これまでのCNS合格者数は、慢性疾患看護分野22名、がん看護分野11名、精神看護分野5名、老人看護分野4名、小児看護分野4名、感染症看護分野8名、母性看護1名、在宅看護2名の合計57名です。

また令和2年度より、これらに加えてクリティカルケア看護CNSコースを新たに開設し、計9分野でのCNS教育課程を展開しています。

【国際教養学部】

英語集中学習プログラムの実施、海外との交流

英語力向上を目的として、例年、夏季期間中の約一ヶ月間、多くの学生がフィリピン・セブ島での英語集中学習プログラムに参加していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現地での研修に代わりオンラインプログラムが実施されました。現地研修と遜色ない魅力的なカリキュラムと指導方法を取り入れ、14名の学生が修了し単位互換が認定されました。

また中国大連理工大学短期オンライン留学に2名が参加、その他、シンガポール、韓国、マレーシアの大学の学生とオンラインで交流を行い、コロナ禍においても積極的に海外との交流を行いました。

2020年度文部科学大臣賞優秀団体賞（仏検）受賞

公益財団法人フランス語教育振興協会主催（文部科学省後援）『実用フランス語技能検定試験（仏検）』の2020年度文部科学大臣賞団体賞に、国際教養学部が選出されました。また、団体賞受賞に併せて、3名の学生が成績優秀者として表彰されました。国際教養学部では、英語の他、フランス語、スペイン語、中国語の第二外国語教育にも力を入れています。

教員採用試験・就職率・大学院進学

教員採用試験は5名が受験して5名全員が合格し、昨年（2名受験し2名合格）に続き100%合格となりました。企業・公務員就職志望者95名の就職内定率は97.9%となり、全国平均を上回る順調な結果となりました。進学希望者13名のうち大学院等への進学者は、本学を含め9名となりました。

【保健医療学部】

自宅でできる運動プログラム公開

新型コロナウイルス感染症等によって外出や運動の機会が減少している方に向けて、理学療法学科で「自宅でできる運動プログラム」を企画・制作し、ホームページで公開しました。エビデンスに基づいた症状別・疾患別のプログラムを、教員が動画でわかりやすく解説しており、再生回数が10万回以上となる動画もある等、大きな反響がありました。

国際テレカンファレンスの開催

保健医療学部における国際化推進の取組として、海外大学との国際テレカンファレンスを定期的に開催しました。双方の教員により、理学療法及び放射線技術の分野における最新の研究報告や活発なディスカッションを実施しました。

- ・ 国立台湾大学医学部理学療法学科（令和2年7月）
- ・ マヒドン大学診療放射線学科（令和2年8月）
- ・ ランシット大学（令和3年2月） ・ 中国医薬大学（令和3年3月）

第1種放射線取扱主任者試験合格者輩出

第1種放射線取扱主任者試験に診療放射線学科の2年生8名が合格しました。全国の合格率は41.9%となっており、非常に難易度が高い国家試験であり、大学2年生で合格することは非常に難しい試験です。引き続き、本学部在学中に当該試験に合格できるよう、今後もサポートを実施していきます。

17. 臨床活動の主な概要

○新型コロナウイルス感染症への対応

【順天堂医院】

一般患者の動線と滞在エリアの完全分離を図っています。一般患者は1号館、COVID陽性及び疑い患者はB棟と建物毎に分離しています。患者の出入口は1号館正面玄関一か所にしてサーマルカメラを設置し、発熱患者のトリアージを実施しています。

令和2年4月よりB棟地上階に「発熱外来」を設置、文京区の要請によるPCRセンターとしても機能させ地域への貢献を果たしています。

予定入院患者について入院前PCR検査を全件実施し、緊急入院など迅速に対応を要する患者には、POCT検査を導入し、院内感染防止に最大限の対策を講じています。

外来診療においては、オンライン診療の導入、あと払いクレジットサービスと薬剤配送サービスの連動、ウォークスルー検査などを導入して混雑（密）の緩和に努めています。入院診療においては、面会制限の不満を少しでも緩和するためにiPadを利用しての面会を導入しました。

特定機能病院としての責務を果たすために、東京都の要請に応じて入院重点医療機関の登録を行い、重症患者用14床、中等症患者用26床、計40床をCOVID専用病床として運用しています。

新型コロナウイルスのワクチン基本型接種施設として、自院の医療従事者に対し、本年3月より先行接種を開始し完了しました。

【静岡病院】

非接触で一度に多人数の体表面温度を計測できるサーマルカメラを病院入口に設置しました。発熱患者の診察及び待機用テントを令和2年12月プレハブに変更して設置し、外気温度が低下するなかで、気温を気にせず診察を行なうことが出来るようになりました。

令和2年9月、2C病棟の一部を改修するとともに同エリア内の給排気能力調整を行ない、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れることの出来る病棟を開設しました。11月より陽性患者の受入に伴い同病棟の運用を開始しました。

新型コロナウイルス感染症有無の判別を行えるフルオートメーションの検査システムを導入しました。多検体を自動処理できるようになり、検査の効率化、迅速化が図れるとともに、検査を行う職員の安全性も確保しました。

新型コロナウイルスのワクチン基本型接種施設として、当院の医療従事者に対し令和3年3月8日から先行接種を開始しました。4月末までに全教職員が2回目の接種終了の予定です。今後、地域の医療従事者をはじめ高齢者に対し順次接種を行っていく予定です。

【浦安病院】

令和2年4月に新型コロナウイルス対策本部を立ち上げ教職員の健康管理のルールを制定し、感染防護具の資材供給の安定化を図りました。患者数の増加に伴い7C個室病棟（27床）を隔離専用病棟として運用開始するとともに、救命救急センター病棟の個室を重症患者病棟（5床）として千葉県指定重点病院となりました。救命救急センター個室は、陰圧室に改修する

工事を行い、今回の工事により陰圧室は5室となり、新型コロナウイルス感染症だけでなく、空気感染を起こす多様な感染症疾患にも対応可能となりました。

令和2年5月より発熱患者外来も一般の患者と異なる動線を確認し、PCR検査を院内で実施するとともに、免疫発光測定装置を導入し、24時間体制で発熱している患者さんに対して、結果報告まで最長1時間以内で新型コロナウイルスとインフルエンザの抗原定量検査を同時に1本の鼻咽頭スワブで行うことが可能になりました。

令和3年3月からは、浦安市の新型コロナウイルスワクチン接種の基幹病院として、医療従事者への接種を行い、浦安市民を対象とする接種への協力体制を整備しました。

【順天堂越谷病院】

新型コロナウイルス感染症対策のため、毎朝受付開始より外来患者向けの出入口の制限及びトリアージ・発熱者専用の臨時診察室の設置・手摺等の定期的な消毒を継続しています。外来においては、オンライン診療料に係る届出を行い、対面診察の他、電話再診、オンライン診療による外来診療を実施しました。入院患者には、全例PCR検査の実施と個室管理を徹底し院内クラスターを含む感染者予防に効果をあげています。

メンタルクリニック外来の患者を対象に、コロナ禍における患者の不安心理に関して大規模なアンケート調査を実施し、その結果を今後の診療に反映する予定です。

埼玉県や越谷市等からの発熱者PCR検査の医師等派遣要請に対し、適宜迅速に対応し、行政や地域医師会との連携強化を図りました。またコロナ禍における「ストレス反応」について市民向け動画を病院ホームページで配信いたしました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

来訪者の出入り口を一ヶ所として検温システムを設置して、職員によるマスク着用、検温及び手指消毒チェックを行っています。面会は、原則禁止ですが時間限定でiPadによる面会ができる環境を整えました。病院各トイレに設置しているエアークハンドタオルを使い捨てタオルに変更し、手指消毒ディスペンサーを各病棟・外来に設置しました。

【練馬病院】

令和元年度に引き続き新型コロナウイルス感染症に対して、発熱外来を設置し、保健所からの要請に応える形で診療を行いました。また再編事業での病床の拡大に合わせ、入院重点医療機関として登録し、病床も最大限活用して入院治療を行いました。検査機器、感染対策備品等も拡充し、オンライン診療の実施やiPad利用による面会、給排気の整備を含め感染対策に注意しながら、診療を継続します。

○その他の臨床活動の概要

【順天堂医院】

気分障害センター開設

令和2年9月に気分障害センターを開設しました。うつ病・双極性障害の専門医療を提供すると共に研究を行い、世界に向けて発信する拠点となるようメンタルクリニックと脳神経内科が連携をしながら診療を行います。気分障害センターでは、予約制の「気分障害専門外来」を設置して専門医療を行っており、当院と順天堂越谷病院において、2週間の入院期間に必要な検査（脳画像、脳波、認知症機能検査等）を行うことにより、診断・治療の見直しを行う「双極性障害治療立て直し入院」を開始しています。

院内在院時間の短縮や混雑緩和のための取り組み

令和2年7月から、定期的に通院している患者さんを対象にウォークスルー検査を始めました。これは「検査だけを受けて帰宅できるシステム」で、現在、血液検査、尿検査、心電図検査、レントゲン検査が対象となっています。

また、通院支援アプリの導入により、スマートフォンで通院をサポートするシステムを導入しました。本サービスの利用について「登録サポートデスク」を設置し、患者さんへのご案内や登録へのサポートを行っています。

1号館2階難病医療支援外来内には、メディカル・コンセルジュを配置しています。患者さんの通院日や検査日の日程調整等を行い、医師をサポートし、患者さんの通院支援アプリへのサポートも行っています。

この他、会計の待ち時間を削減するあと払いクレジットサービスに続き、令和2年7月よりお薬の待ち時間を削減するお薬宅配サービスを開始しています。

この取組により、検査時間や会計待ち時間の短縮だけでなく、在院時間の短縮にもつながります。混雑を緩和することにより、新型コロナウイルスの感染リスクも減らすことができます。

看護師による特定行為の開始

令和3年3月30日、当院で術中管理領域における2年間の特定行為研修を修了した看護師6名が卒業しました。術中管理領域における特定行為が出来る看護師により、医師をサポートしていきます。今後も、特定行為が出来る看護師を養成していきます。

【静岡病院】

静岡病院増改築計画

令和3年3月末時点での増改築計画の進捗率は、H棟I期工事の85.6%、増改築計画全体の48.0%に到達しました。H棟I期工事は建物の躯体工事が完了し、内装、外装工事を推進し、設備工事に取り掛かっています。

入退院支援室の設置

令和2年1月に行われた「施設基準に係わる適時調査」において、入退院支援加算の施設基準の要件から、独立した退院支援部門の設置について整備するよう指摘があり、これを踏まえ令和2年7月1日付にて医療サービス支援センター内に入退院支援室を設置しました。入退院支援室では、入院前から入院後の生活や治療過程がイメージでき、安心して入院生活

が送れるように支援します。また、入院前から地域の支援者と連携を図り、切れ目のない支援をしていきます。

看護師特定行為研修の実施

令和2年度から指定研修機関として看護師特定行為研修を開始しました。初年度は院内の7名が1年間の研修を修了し、今後は「特定看護師」として活動致します。特定看護師の活用を図ることで、タスクシフト・タスクシェアリングの推進による医師業務負担軽減や患者さんへのタイムリーなケアが期待されます。

【浦安病院】

スポーツ医学センターの設置

令和2年4月1日よりスポーツ医学センターを設置しました。複数の診療科と連携しながら、ハイレベルなスポーツ診療を提供し、様々なスポーツのトップアスリートに対する治療を行っております。

健康推進センターの設置

令和2年4月1日より健康推進センターを設置しました。主に人間ドックや脳ドック、企業検診を行い、検診後のフォローアップも行うことで、包括的に市民の皆さまの健康をサポートしています。

中央手術室2室増室

令和2年4月1日より、中央手術室を12室から14室へ増室しました。年間8,500件を超える手術と、泌尿器科、消化器・一般外科、産婦人科においては、手術支援ロボット（ダヴィンチ）手術の導入を行っております。

多目的血管撮影装置導入

令和2年6月8日より、多目的血管撮影装置の運用を開始しました。従来の装置より、被ばく線量を抑えながら高画質な血管造影撮影が可能になりました。

日本肝胆膵外科学会「肝胆膵外科高度技能専門医修練施設 B」に認定

令和2年6月1日に日本肝胆膵外科学会より「肝胆膵外科高度技能専門医修練施設 B」に認定されました。すでに修練施設として認定されておりましたが、十分な教育体制や高難度肝胆膵外科手術の実績が認められ、修練施設 B に認定されました。

日本造血細胞移植学会認定移植施設に認定（認定カテゴリー：3）

令和2年7月6日付で日本造血細胞移植学会が定めた認定基準による非血縁者間造血幹細胞移植を施行する認定診療科として認定されました。すでに日本骨髄バンクの非血縁者間骨髄採取施設に認定されておりましたが、今後は採取だけでなく骨髄バンクに登録されているドナーからの移植も当院で実施可能となりました。

放射線画像システム（PACS）更新

令和2年9月26日～27日に放射線画像システム（PACS）を更新しました。読影レポートの参照がよりスムーズになるとともに、医療従事者の読影レポート既読状況を確認できる既読管理機能が追加され、3D画像解析もバージョンアップし、より高度な解析が可能となりました。

【順天堂越谷病院】

医療観察法への協力

関東信越厚生局からの要請を受け、心神喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関として届出を行い、埼玉保護観察所との連携の元に対象患者の社会復帰に向けて更なる地域精神医療への貢献を図ります。

精神科医の派遣

平成 27 年度より開始された越谷市精神保健専門相談事業に引き続き協力し、講師派遣（精神科医派遣）、平成 30 年度より開始された越谷市自殺対策連絡協議会の運営に協力し、協議会委員として精神科医派遣を受諾しました。また埼玉県精神医療審査会の審査委員として、毎月、精神科医の派遣に対応しています。

広報活動の強化

広報活動の一環として、ホームページをリニューアルしました。視認性、検索の容易性等の向上、SNS（Facebook）との連携等、情報発信の基幹ツールとして充実を図ります。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

医療連携強化

コロナ禍で医療連携フォーラム、医師会等との連携の会が開催できないため病院の紹介パンフレットの配布、Web での動画配信を行いました。

広報活動の強化

区民健康講座が開催できないため、区民の皆さんへは最新医療情報をホームページにて動画配信を行うとともにパンフレットを郵便局に設置して広報活動を行いました。

脊椎内視鏡システムの導入

高齢者、合併症を有する患者さんへ質の高い低侵襲な術式での治療を可能にするため脊椎内視鏡システムを導入しました。

【練馬病院】

1号館増床工事と診療機能の向上

平成 29 年より 3 号館の新築工事を始め、令和 3 年度にかけて 1 号館の改修工事を実施しています。令和 3 年 3 月末までに 2～7 階の病棟工事が完了し、400 床から 490 床へ増床し、令和 3 年 4 月から稼働します。改修工事の主なポイントは次のとおりです。

- ・ 90 床の病床を増設・救急外来の拡張と感染対応陰圧室の増設、ICU の拡張
- ・ 小児周産期センター（NICU/GCU）、新生児科の新設、産科病棟の整備・無菌病室の新設
- ・ 手術室の増室（davinch 対応手術室）
- ・ 放射線画像センターの拡張

放射線画像センターの装置更新

放射線画像センターにおいて、令和 2 年 4 月～令和 3 年 1 月にかけて、X 線 CT 装置 2 機の装置更新、MRI 装置 1.5T と 3.0T の追加導入、リニアック装置の装置更新等、各種機器の全面的な更新を行いました。

救急室の拡張・救急プライマリケアセンターの設置

救急室の拡張工事に伴い、救急診療、プライマリケアに取り組む環境を構築するため、「救急プライマリケアセンター」を設置しました。当センターでは、救急・集中治療科の医師、総合診療・性差科の医師、看護師、救急救命士らの連携を高め、救急患者と当日紹介患者の受入を安全かつ迅速に、そして、より多くの患者を受入れられるよう努めております。

入院支援センター（かけはし）のオープン

地域密着型の急性期病院を目指し、患者さんが安心・安全に入院や治療に臨めるよう入院支援センター（呼称：かけはし）を開設しました。同時期に新設した「入退院支援室」の看護スタッフの協力のもと、「入院前からの情報の一元化による質の高い入院支援」を目指し、多職種と連携しながら、患者・家族を支援します。

医療連携の会

令和2年9月18日にホテルカデンツァ光が丘にて、医療連携の会を開催いたしました。ZOOMのウェビナーを利用し、職員、地域の医療関係者の皆様に配信しました。当日は、当院の新型コロナウイルス感染症に対する取組について講演を行いました。また、ゲストとして自衛隊第一師団第一音楽隊による素晴らしい演奏を披露いただき、好評をいただきました。

「未来の教室」STEAM ライブラリー事業に採択

病理診断科の小倉加奈子医師が作成した「おしゃべり病理医の MEditLabo-医学 Medicine ×編集 Edit で世界を読む」が、経済産業省「未来の教室」STEAM ライブラリー事業に、医学分野として唯一採択されました。「医学×バイオ」「医学×歴史」「医学×図書」の3つのテーマから構成されている教材です。

18. 国際交流活動

【大学交流協定について】

広西医科大学第一附属医院、ジョンズ・ホプキンス大学、マイアミ大学と大学交流協定を新たに結び、国際交流協定校は27カ国／地域、71機関となりました。

大学交流協定校一覧			
アジア 中国 (17) ・北京体育大学 ・中日友好医院 ・中国医科大学 ・大連理工大学 ・復旦大学 ・ハルビン医科大学 ・華中科技大学 ・蘭州大学 ・寧夏回族自治区人民医院 ・寧夏医科大学 ・北京大学 ・北京大学国際医院 ・北京大学人民医院 ・四川大學 ・天津医科大学 ・広西医科大学第一附属医院 ・香港大学 インドネシア (4) ・アイルランガ大学 ・ガジャ・マダ大学 ・パジャジャラン大学 ・インドネシア大学 韓国 (4) ・漢陽大学 ・仁済大学 ・韓国体育大学 ・蔚山科学技術大学 マレーシア (1) ・マラヤ大学		ミャンマー (2) ・国立保健研究所 ・ヤンゴン第一医科大学 シンガポール (1) ・シンガポール国立大学 台湾 (4) ・中国医薬大学 ・高雄医学大学 ・国立台湾大学 ・台北医学大学 タイ (7) ・チェンマイ大学 ・チュラロンコン大学 ・カセサート大学 ・メーファラーン大学 ・マヒドン大学 ・スラナリー工科大学 ・タマサート大学 ベトナム (2) ・108陸軍中央病院 ・ベトナム軍医大学 大洋州 オーストラリア (1) ・西シドニー大学 ニュージーランド (1) ・オタゴ大学	
北米 アメリカ (8) ・ブリガム・アンド・ウィメンズ病院 ・ジョンズ・ホプキンス大学 ・スタンフォード大学 ・ハワイ大学 ・マイアミ大学 ・ミネソタ大学 ・ニューメキシコ大学 ・MDアンダーソンがんセンター 中南米 ブラジル (1) ・ベルナンブコ連邦大学 欧州 ベルギー (1) ・ブリュッセル自由大学 デンマーク (1) ・オールボー大学 フィンランド (1) ・ユヴァスキュラ応用科学大学 フランス (2) ・脳脊髄研究所 ・ストラスブール大学 ドイツ (2) ・シャリテ医科大学 ・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学 ・ミュンヘン		ハンガリー (1) ・セメルバイス大学 ポーランド (1) ・ポズナン医科大学 ロシア連邦 (1) ・カザン連邦大学 スペイン (2) ・カルロスIII世大学 ・サラマンカ大学 イギリス (2) ・デモントフォート大学 ・ロンドン大学聖バーツ病院 ウズベキスタン (1) ・ウズベキスタン保健省 中東 バーレーン (1) ・アラビアンガルフ大学 イラン (1) ・テヘラン医科大学 トルコ (1) ・アジュバーデム大学	

【連携活動について】

○ 国際協力機構（JICA）との保健医療分野での連携協定の締結

学校法人順天堂と国際協力機構（JICA）は、令和2年11月20日、保健医療分野の連携協定を締結しました。締結式は東京のJICA本部にて執り行われました。本学とJICAはこれまで、タイにおける高齢化対策や非感染性疾患対策に関するJICA海外協力隊派遣、及びタイ、ボリビアにおける保健セクターの事業で協力してきました。中でも、タイでの皮膚・アレルギー学・形成外科学の分野における人材育成は、40年以上に亘ります。本学及びJICAの支援により、タイ皮膚病学研究所（バンコク）で開始した研修（ディプロマコース）は国際的に認知され、1,000人を超える同研修の卒業生が、タイ国内だけでなく、タイ以外の国でも活躍しています。今回の協定は、途上国における保健医療分野の支援を強化するため、より包括的な連携を目指し、SDGs（持続可能な開発目標）ゴール3「すべての人に健康と福祉を」に貢献することが目的です。



連携協定署名式 JICA 北岡理事長(左)、学校法人順天堂 小川理事長(右)

【学術交流について】

新型コロナウイルス感染症の影響により大学間交流イベント等は全てオンラインでの開催となりました。

開催日	相手先	内容
7月6日	台湾・国立台湾大学	順天堂大学保健医療学部・国立台湾大学医学部 第1回国際テレカンファレンス
8月18日	タイ・マヒドン大学	順天堂大学保健医療学部・タイ・マヒドン大学診 療放射線学科 第1回国際テレカンファレンス
8月19日	デンマーク・オールボー大学	順天堂大学保健医療学部・デンマーク・オール ボー大学研究報告会
8月19日	中国・広西医科大学	消化器・低侵襲外科領域の研究発表、ディスカッ ション（医学部）
10月1日 ～3月20日	ユヴァスキュラ応用科学大 学	保健看護学部とユヴァスキュラ応用科学大学と のオンライン教育交流
10月14日	駐日デンマーク大使館等	Japan-Denmark Tele Tech ZOOM Webinar（保健医 療学部）
10月16日	中国・広西医科大学	循環器内科領域の研究発表、ディスカッション （医学部）
10月23日	中国・中日友好医院	日中オンラインリハビリ医学学術交流会（医学 部）
11月25日	中国・広西医科大学など	第3回中国・ASEAN フォーラム（医学部・看護部 など）
11月27日	中国・北京体育大学	中国・北京体育大学・順天堂大学オンライン学術 交流会（スポーツ健康科学部）
12月1日 12月3日	国際大学（IUJ）	国際大学（IUJ）（新潟県） ミニオープンキャン パス（国際教養学部）
12月10日	中国医薬大学理学療法学科	中国医薬大学理学療法学科とのオンライン学生 交流会（保健医療学部）
12月18日	インドネシア・パジャジャラ ン大学看護学部等	第1回アジア国際看護シンポジウム（医療看護学 部）
1月21日	デンマーク・オールボー大学 等	Smart Houses Technologies and Telehealth（保 健医療学部）
2月15日	北京大学医学部	北京大学医学部・順天堂大学医学部循環器内科 学術交流意見交換会（医学部）
2月15日	国際大学（IUJ）	国際大学（IUJ）異文化コミュニケーション模擬 授業（国際教養学部）
2月18日	タイ・ランシット大学	第一回国際テレカンファレンス（保健医療学部）
2月28日、3月 3、10、17日	ウズベキスタン・タシュケン ト国立東洋学大学	オンライン異文化交流会（保健看護学部）

【留学生の研修・交流活動について】

留学生等の受入は、長期外国人留学生（在留資格：留学）が18カ国／地域、121名で、外国人短期研修生が15名でした。新型コロナウイルス感染症の影響による日本への入国制限により外国人短期研修生が大幅に減少しました。

○ 外国人留学生【在留資格：留学】 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

国／地域名	人数	国／地域名	人数	国／地域名	人数
中国	89名	マレーシア	1名	イラン	1名
台湾	6	インド	1	イタリア	1
インドネシア	4	ネパール	1	フランス	1
韓国	3	パキスタン	1	ブラジル	1
ミャンマー	3	カザフスタン	1		
ベトナム	3	ウズベキスタン	1		
バングラデシュ	2	トルコ	1	合計：18カ国／地域 121名	

※学部生、大学院生（修士・博士）、外国人研究生

○ 外国人短期研修生 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

・国／地域別受入数

国／地域名	人数
その他	15名
合計：15名	

※その他は日本国籍保持者で、海外の大学の在学者

・学部別受入数

学部	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医学部					8	9	10	11	11	11	11	15	86
計					8	9	10	11	11	11	11	15	86

※延べ人数を各月毎に算出（実人数は15名）

19. 文部科学省等採択事業の概要

科学研究費助成事業

令和2年度文部科学省「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」（同省11月公表）の新規採択率は30.7%、採択件数は610件（継続含む）で私立大学615校中、採択件数は第5位、配分額では第4位となりました。本学の研究活性化に伴い採択件数、配分額ともに増加基調を続けています。

順天堂大学研究ブランディング事業

平成28年度及び平成29年度に採択された文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」を中心に、本学の強みと魅力を生かした研究を積極的に進め、その成果を社会へ発信し続けるプロジェクト「順天堂大学研究ブランディング事業」を令和2年度から開始しました。医学領域、スポーツ領域、医学とスポーツを融合した学際領域の事業を全学で募集し、採択された12の事業を中心に研究ブランディング事業を展開しました。コロナ禍の影響で、各種シンポジウム、セミナーの現地開催は叶いませんでしたが、Zoom等のWeb会議ツールを活用し、オンライン国際シンポジウム等特色ある取組を行いました。順天堂ブランド研究を多様なステークホルダーに発信する取組として、研究成果のプレスリリースの発信も積極的に行い、ホームページ上で随時紹介しました。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

平成27年度に採択された文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」が最終年度を迎えました。東京医科歯科大学、株式会社ニッピと連携して行う本事業では、女性研究者の活躍推進や研究環境のダイバーシティ実現に取り組んでおり、コロナ禍においても、オンラインにて合同シンポジウム等を開催しました。本事業については、3年間の補助金交付期間を経て、事業計画6年の全期間を終えましたが、引き続き、共同研究の実施や女性上位職育成の取組等を通して、女性研究者の活躍推進や研究環境のダイバーシティ実現を目指し、関係機関で連携して取り組んでいきます。

センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム事業

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム事業『運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点』」が立命館大学との共同拠点として6年目を迎え、本学拠点の取組としてロコモ発症・進展予防のためのプログラム開発・技術開発に加え、立命館大学拠点成果の医学的実装推進を行いました。コロナ禍での活動自粛による運動不足解消を目的として2件の活動をプレスリリースしました。令和2年5月、立命館大学及び東京藝術大学との3大学で共同開発した運動誘導アプリ「バイオシグナルアート」をプレスリリースし、同7月発行のJSTニュースの表紙として紹介されました。令和2年7月、ロコモ予防運動プログラム普及のために開設したHP「順大さくら“筋活”講座」をプレスリリースしました。同HPを通じて開催した公開講座（4回）及びオンライン運動教室（2回）の参加者数は国内外で延べ500名を超えています。今後も参画企業と連携し製品化等の社会実装に向け更なる研究開発・社会実験をCOVID-19への対応・対策を含めて進めます。

基礎研究医養成活性化プログラム

平成 29 年度に採択された文部科学省「基礎研究医養成活性化プログラム」が 4 年目を迎えました。東京大学、福島県立医科大学と連携し、「福島関東病理解法医連携プログラム『つなぐ』」として 3 大学の病理学、法医学分野の連携により、人材育成を目指す本プログラムに本学の大学院生 2 名が参加しています。

令和元年度より連携大学での 2 カ月ずつの交換学生交流や会員専用動画の配信等が開始され、リアルネットワークと ICT を活用したバーチャルネットワークで 3 大学をつなぐ、充実した取組となりました。これまでの取組に対して昨年度「A」の中間評価を得ています。

令和 3 年度には、新たに本学の大学院生 1 名が参加予定となっており、今後も更なる連携強化を図るとともに、キャリアパスの構築までを見据えた体系的な教育内容の強化・充実化を図っていきます。

20. 教育研究施設・設備の充実

【法人・大学】

浦安日の出キャンパス整備

令和2年9月に浦安日の出キャンパスの地鎮祭が執り行われ、講義棟・体育館の建設工事に着手しました（竣工予定：令和3年12月）。浦安日の出キャンパスには医療科学部（仮称）を設置し、確かな技術と高い実践力を備えた臨床検査技師及び臨床工学士の養成を目指す計画です。



【さくらキャンパス】

新講義棟（3号館）・新学生寮（啓心寮西寮B）建設工事

令和3年度からのスポーツ健康科学部定員増計画に伴い建設が進められてきた新講義棟、新学生寮が竣工しました（講義棟/令和3年2月26日、学生寮/令和3年1月29日に竣工）。



新講義棟（3号館）



新学生寮（啓心寮西寮B）

新講義棟には大講義室 1 室（最大 744 名収容）中教室 2 室（234～243 名収容）、小教室 5 室（63～122 名収容）、ゼミナール室 28 室（12～50 名収容）のほか、ラーニングコモンズや多目的に活用することができるカンファレンスホールを配置し、学生や教職員が様々な学習スタイルにあわせて利用できる学修環境を整備しました。

また、新学生寮は最大 144 名収容が可能で、既存の学生寮と併せて 896 名の学生の収容が可能となりました。



大講義室（3 階）



カフェテリア（2 階）

【浦安キャンパス】

クラウド型 e ラーニング学習システム導入とオンライン学習の推進

令和 2 年 5 月よりクラウド型 e ラーニング学習システム「学び〜と」を導入しました。また、Office365 のサブスクリプションである Stream を利用した授業動画配信を開始しました。本システムの利用により、従来の外部接続用ソフトを用いた接続が必要なくなり、ネットワークに接続すれば自由にシステムを活用できるようになり、オンライン学習が円滑に進められるようになりました。

ユビキタスな看護教育支援システムの導入

文部科学省私立大学等研究設備費等補助金の採択を受け、令和 3 年 3 月に「看護実践力の育成と強化を実現するユビキタスな看護教育支援システム」を導入しました。シミュレーション場면을撮影した動画のリアルタイム配信や実習室内の ICT 環境の整備と教育機器システムの補充により、1 学年 200 名の学生が「ユビキタス（いつでもどこでも）」に、シミュレーションと振り返りをできる学習支援環境が構築されました。

【三島キャンパス】

教室 AV・ICT 設備更新

大中教室の AV 設備更新を行い、AV 制御関連装置（プロジェクタ、ワイヤレスマイク）・TV 会議システムの更新を始め、教室間映像・音声連携モニタリングシステムを新規導入し、密を避け各教室の収容人数に対応した対面授業や効果的なオンライン授業実施に向けた設備強化を行いました。

感染対策設備設置

学内の感染予防のため、エントランスに発熱者を感知する AI サーマルカメラを設置しました。また、食堂内でのクラスター発生を防御するため、各テーブルに飛沫感染防止アクリル板を設置し、食堂及びコミュニティスペースについて安全かつ快適な環境を整えました。

21. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

順天堂創立 175 周年記念事業の一環として取り組んでいる大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗状況は以下のとおりです。

(1) 本郷・お茶の水キャンパス

① A 棟（新研究棟建設）

A 棟は令和 2 年 9 月 18 日に竣工しました。この建物の低層棟に 1906（明治 39）年に建設された順天堂医院の歴史ファサードを再現しました。また A 棟Ⅱ期工事が完了し約 15 年間の本郷・お茶の水キャンパスの再編事業が終了しました。



歴史ファサード



記念碑



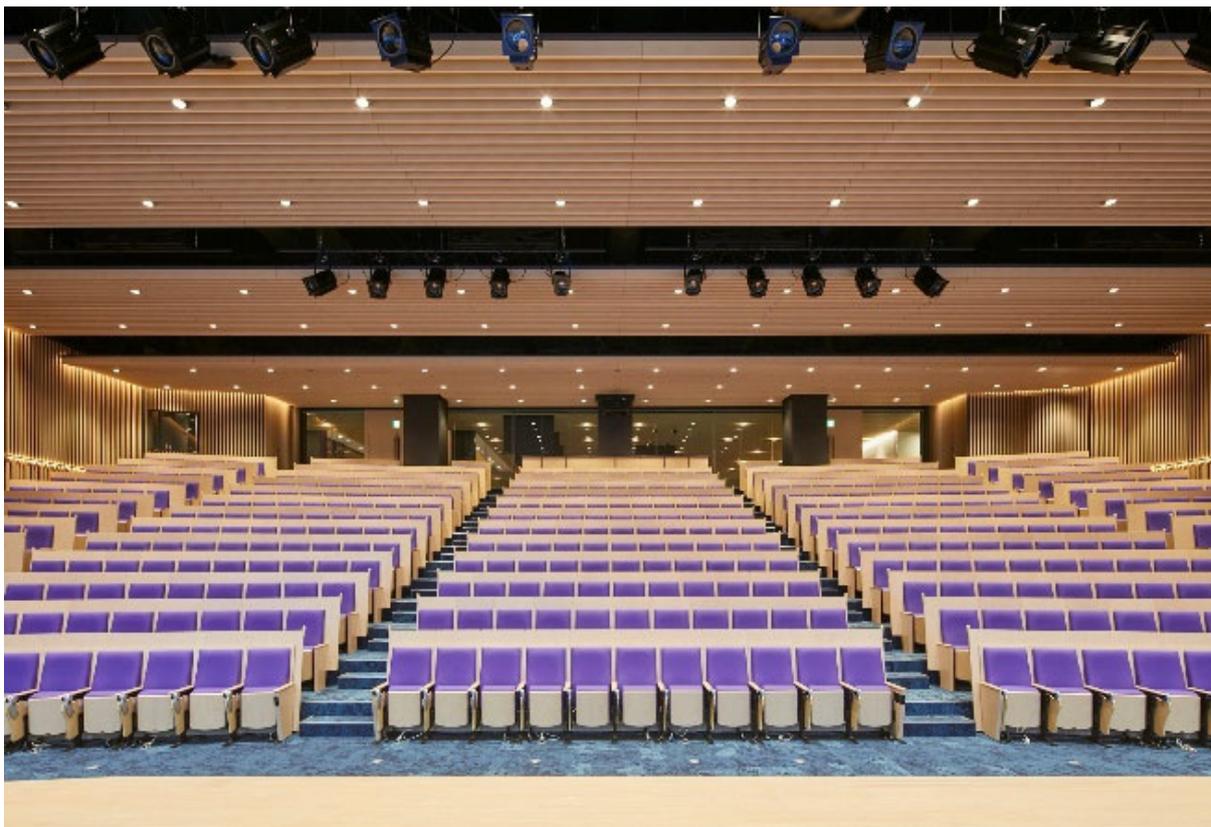
有山登メモリアルホール（13 階）



テープカット



レストラン（2 階）



小川秀興講堂（1階）



展示ギャラリー（地下1階）

② B棟3階内視鏡検査エリア改修工事

3階内視鏡検査エリアの拡張に伴い、令和元年12月にリカバリールームの拡張・移転、令和2年5月にX線透視室を1室増設の工事が完了しました。

③ 4号館7、8階病理診断センター改修工事

7、8階病理診断センターの検査スペースの確保、排気装置新設による実施可能な検査件数の増加、厚生労働省指針による法的基準の改善等、改修工事は完了しました。

22. スポーツ分野での活躍

○全国大会での活躍

新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況の中、主な世界大会は延期となりましたが、秋頃から国内で大会が開催されるようになり、本学の学生も出場して活躍しました。

陸上競技部は、9月の日本学生陸上競技対校選手権大会で、男子は110mHで村竹ラシッド（スポ科1年）が、3000mSCで三浦龍司（スポ科1年）がそれぞれ優勝し、女子は10000mWで林奈海（スポ科3年）が優勝しました。

年が明けた2月の日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走でも三浦龍司が優勝し、3月の日本陸上競技選手権大会・室内競技では、男子60m障害で泉谷駿介（スポ科3年）が日本新記録で優勝しました。

体操競技部は、10月の全日本学生体操競技選手権で、男子団体総合で3年ぶり11度目の優勝を果たしました。

個人総合では、橋本大輝（スポ科1年）が1位、谷川翔（スポ科4年）が2位、個人種目別では、跳馬、あん馬で橋本大輝、平行棒で北村郁弥（スポ科4年）が優勝しました。

12月の全日本体操個人総合選手権 兼 全日本体操種目別選手権では、萱和磨（大学院博士前期2年）が優勝し、谷川翔が3位、橋本大輝が5位になるなど、10位以内に本学関係者7名（在学学生5名、卒業生2名）が入る快挙となりました。

○パラアスリートの活躍

年明けからパラの大会も開催され、1月の全日本パラ・パワーリフティング国際招待選手権大会に宇城元（さくら会計課）が階級を下げた72kg級において、日本新記録で優勝し、男子最優秀賞を獲得しました。

2月の2021 ジャパンパラゴールボール競技大会では、東京パラリンピック男子日本代表に内定している佐野優人（健康2年）が得点王になるなどの活躍をし、3月のパラ日本陸上競技選手権大会では山崎晃裕（さくら学生課）がパラやり投げ（F46）で優勝しました。



三浦龍司（スポ科1年）



体操競技部 団体総合優勝



宇城元（会計課）

23. プレスリリース

○研究成果関係

発信日	タイトル [部門]
2. 4. 15	野球における打撃練習と視覚的なトレーニングの効果を検証 ～球速や球種に着目した練習の重要性を報告～ [スポーツ健康科学部]
4. 28	クロールでの泳ぎ出し前のバタ足は大きな減速の原因に ～バタ足使用がパフォーマンスにデメリットとなることを実証～ [スポーツ健康科学部]
5. 13	独居生活が急性冠症候群の長期予後に与える影響について ～65歳未満の患者では「一人暮らし」が長期予後不良の要因に～ [静岡病院循環器内科]
5. 19	日本人における高齢者入院患者の疾患の特徴を明らかに ～全国の診療データベースを用いた大規模疫学解析を実施～ [革新的医療技術研究開発センター]
5. 21	ミトコンドリアのマイトファジーを可視化する蛍光技術 ～パーキンソン病の診断と治療に貢献～ [神経生物学・形態学]
5. 26	パーキンソン病の病態を改善させる治療薬探索システムを確立 ～患者由来 iPS 細胞を用いた薬剤スクリーニングシステム～ [ゲノム・再生医療センター]
6. 2	ビール苦味成分として知られるホップ苦味酸による認知機能改善効果を確認 ～毎日の食事を通じた認知症予防方法の開発へ期待～ [精神医学]
6. 15	脳神経細胞内オートファジーを可視化する動物モデルを開発 ～老化・神経変性疾患におけるオートファジー機能の解明にむけて～ [神経疾患病態構造学講座]
6. 19	高齢心不全患者のフレイル領域の数が再入院や死亡のリスクを高める ～フレイルの多面的な評価が患者の経過予測に重要～ [循環器内科学]
6. 19	希少がんの軟部肉腫の治療薬パゾパニブの効果予測が可能に ～ゲノム情報を用いた高悪性軟部肉腫の個別化医療開発へ～ [臨床腫瘍学／整形外科／人体病理病態学]
6. 24	「見え方」がよいと社会参加が増える（オッズ比 1.3～1.6 倍） [眼科学]

発信日	タイトル [部門]
6. 25	兄弟、同世代のドナーが便移植療法の長期治療効果を高める ～個別化腸内細菌療法の確立に向けて～ [消化器内科]
7. 6	ミトコンドリア病の新たな原因遺伝子を発見 ～発達遅滞・小頭症・てんかん合併症例の治療法開発へ期待～ [難病の診断と治療研究センター]
7. 7	世界初、円形脱毛症の原因遺伝子を同定 ～遺伝子のリスクアレルの有無に基づく新たな診断法と治療法の開発に道～ [皮膚科学・アレルギー学]
7. 9	高精度の光線-電子相関顕微鏡法の開発に成功 ～様々な疾患における超微形態解析や機能解析への応用に期待～ [神経疾患病態構造学講座]
7.10	体験型農園のストレス軽減効果に関する共同記者会見 [緩和医療学研究室]
7.10	新生児ミトコンドリア心筋症の原因遺伝子を国際連携による大規模研究で同定 ～早期診断と治療法開発へ期待～ [難病の診断と治療研究センター]
7.10	iPS 細胞から子宮頸がんの増殖を抑える免疫キラーT 細胞の作製に成功 ～子宮頸がんに対する免疫細胞療法の実現に向けて～ [血液内科学/産婦人科学]
7.28	日本人におけるミトコンドリア肝症の臨床像・遺伝学的特徴を初めて解明 [難病の診断と治療研究センター]
8. 7	潰瘍性大腸炎の新たな病態メカニズムを解明 ～IL-26 を産生する免疫 CD8 T 細胞の発見～ [免疫病・がん先端治療学講座/消化器内科学]
8. 7	神経変性疾患治療薬の候補となる新規オートファジー誘導物質を同定 ～オートファジー調節化合物の機能を統合的に解析する手法を開発～ [オートファジー調節化合物探索研究講座/神経学]
8.20	バセドウ病治療におけるヨウ素制限と治療効果との関連を明らかに ～食事や治療薬制限見直しによる患者の負担軽減に期待～ [代謝内分泌内科学]
8.20	「人生における意味や目的」が循環器疾患の発症リスクを抑制する ～英国公務員の5年間にわたる大規模縦断調査で明らかに～ [公衆衛生学]

発信日	タイトル [部門]
8. 27	経口免疫療法により食物アレルギー症状の発生が抑えられるメカニズムを解明 ～食物アレルギーの治療法改善に役立つ成果～ [アトピー疾患研究センター]
9. 2	運動機能制御に関わる大脳基底核の新しい神経回路モデルを発見 ～直接路と間接路、2つの経路の相互作用～ [神経生物学・形態学]
9. 2	歩数調査からみた、緊急事態宣言下の幼児の活動実態 [大学院スポーツ健康科学研究科]
9. 8	飢餓状態の細胞がオートファジーを長時間継続させる仕組みを解明 ～癌治療の標的となりうるタンパク質の関与を発見～ [老人性疾患病態・治療研究センター]
9.17	3次元オンライン診療システムを開発 ～ポストコロナを見据えた未来の医療実現に向けて～ [神経学]
9.18	CD73 陽性細胞の移植により肺線維化の軽減に成功 ～免疫寛容の誘導による肺線維症の新規治療法の開発に期待～ [難病の診断と治療研究センター]
9.23	IgA 腎症の炎症を引き起こす鍵となる分子を同定 ～AIMの制御がIgA腎症の進行予防および治療法開発のターゲットとなる可能性～ [腎臓内科]
10. 8	肺がん「肺浸潤性粘液性肺腺癌」の予後予測が可能に ～粘液発現タイプの測定による診断の細分化と治療法の選択へ～ [人体病理病態学／呼吸器外科学]
10.13	アレルギー性皮膚炎を悪化させる樹状細胞集団を発見 ～ロイコトリエンB4受容体を発現する樹状細胞を標的にした治療法の開発へ～ [生化学・細胞機能制御学]
10.21	腫瘍由来IL-34は免疫チェックポイント阻害療法の効果を抑制する ～IL-34を標的とした新規治療法の開発に期待～ [免疫学]
10.27	オートファゴソーム膜を伸ばす仕組みを解明 ～オートファジー最後の未知たんぱく質の正体が明らかに～ [老人性疾患病態・治療研究センター]
11. 2	新型コロナウイルスの流行下におけるビタミンD不足に警鐘！ ～プロサッカー選手の血液データ解析から得られたこと～ [順天堂医院整形外科・スポーツ診療科]

発信日	タイトル [部門]
11. 5	世界クラスの体操競技選手の脳の特徴を明らかに ～新たなトレーニング法開発や競技能力の客観的評価に役立つ可能性～ [大学院スポーツ健康科学研究科/放射線診断学/脳神経外科学]
11. 20	希少がん「平滑筋肉腫」の原因となる発がん因子を新たに発見 ～トランスクリプトーム解析を用いたがん個別化医療の開発へ～ [整形外科/人体病理病態学]
12. 11	日本女性における不妊治療開始後の離職に影響する要因を明らかに ～不妊治療と就労の両立支援に資する、世界初の疫学研究～ [公衆衛生学講座/産婦人科学講座]
12. 15	細胞の核内脂肪滴の形成メカニズムを明らかに ～全身性脂肪萎縮症の原因となるタンパク質セイピンの新たな機能を解明～ [老人性疾患病態・治療研究センター]
12. 23	血液がんを正確かつ簡便に診断できる画期的なバイオマーカーを発見 ～CREB3L1 遺伝子の発現量で骨髄増殖性腫瘍を判定～ [血液内科学/輸血学研究室]
12. 23	蛍光タンパク質を用いた高精度 2 色光線-電子相関顕微鏡法を開発 ～様々な疾患における超微細構造・機能解明の加速へ～ [神経疾患病態構造学]
3. 1. 5	非膜型細胞小器官 p62 顆粒の機能を解明 ～p62 顆粒はオートファジーおよび抗酸化ストレス応答を制御する機能的液滴である～ [器官・細胞生理学]
1. 6	大きな血糖変動が血管硬化に影響することを明らかに ～糖尿病治療における血糖変動管理の重要性～ [代謝内分泌内科学]
1. 7	生物研究用に開発された蛍光ガラス素材 ～単一神経細胞レベル研究の新たなツール～ [神経機能構造学]
1. 14	オートファゴソームの膜が伸長する仕組みを解明 ～オートファゴソーム形成には Atg9 によるリン脂質の膜横断輸送が関わる～ [老人性疾患病態・治療研究センター]
2. 9	スポーツ競技時の剣道選手の視覚機能を評価する最適な方法を明らかに ～競技種目にあわせた視機能評価法と視覚トレーニング法の確立へ～ [眼科学/スポーツ健康科学部]
2. 10	AI 自動分析システムにより血液がんの高精度鑑別に成功 ～血液を用いた早期 AI スクリーニング検査・診断支援技術の実現へ～ [次世代血液検査医学講座]

発信日	タイトル [部門]
2. 11	日本における重症ミトコンドリア病に対する出生前診断の現状を初めて報告 [難病の診断と治療研究センター]
2. 16	食後高血糖となる耐糖能異常が痩せた若年女性に多いことが明らかに ～痩せていても肥満者と同様の体質～ [代謝内分泌内科学・スポーツロジックセンター]
2. 17	日本人の2型糖尿病発症に関連するミトコンドリア遺伝子多型を発見 ～個々の遺伝子体質に合わせた糖尿病の運動療法開発の糸口となるか～ [スポーツ健康科学部]
2. 22	正常体重でも代謝異常となる原因に脂肪の「質」が関連 ～太っていなくても生活習慣病になる原因?～ [代謝内分泌内科学・スポーツロジックセンター]
2. 25	アレルギー炎症を増悪・遷延化させ、その炎症を全身に拡げるメカニズムの解明 ～アレルギー疾患の新規治療法確立への期待～ [眼科学]
3. 15	心肺停止患者のAIによる高精度予後予測モデルを開発 ～AIを用いた心肺蘇生治療サポートの実現に期待～ [浦安病院救急診療科]
3. 15	電子顕微鏡像の3D再構築技術により糸球体内皮細胞の正常構造を完全解明 ～慢性腎臓病の原因となる糸球体内皮細胞傷害のメカニズム解明と診断法確立へ～ [解剖学・生体構造科学]
3. 23	肝硬変や角化異常等を発症する希少疾患の原因となる遺伝子変異を同定 ～NLRP1遺伝子点変異が自己炎症性疾患を引き起こす～ [アトピー疾患研究センター／膠原病・リウマチ内科学]

○研究成果以外のトピックス

発信日	タイトル [部門]
2. 4. 14	順天堂大学国際教養学部が株式会社 VSN と「キャリア発達および人材開発に関する産学連携による研究」をスタート [国際教養学部]
4. 20	順天堂医院が医療法に基づく臨床研究中核病院として承認されました [順天堂医院]
4. 30	新型コロナウイルス検査を外国人向けに「やさしい日本語」で～通訳同行が困難な検査場面で使えるフレーズを動画で公開～ [医学教育研究室]
5. 12	順天堂大学とジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニーがモバイルヘルスを用いた個人の健康データ活用に関する共同研究を開始 [眼科学]
5. 13	順天堂大学とセルソース、PFC-FD・エクソソームを用いた不妊治療の手法について共同研究契約を締結 [産婦人科学]
5. 20	関節リウマチ患者さんの日常生活をサポートするアプリ「リウマジョイ」を公開～痛みや体調と天候・運動との関連解明を目指す～ [膠原病内科学]
5. 20	Sports×Art×Technology で運動を点数や音楽表現に変換し、楽しく継続することができるアプリを開発 ～COVID-19 で運動不足の方へ向けて研究成果を社会還元～ [大学院スポーツ健康科学研究科]
5. 26	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診断のための SARS-CoV-2 抗原検出イムノクロマトキットを開発 ～検査開始から終了まで数分から数十分で診断が可能に～ [微生物学]
6. 1	順天堂大学に「リアルワールドエビデンス評価研究講座」を開設 ～産学連携によるリアルワールドエビデンス研究・教育拠点の構築を目指す～ [放射線診断学]
6. 25	順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 外出自粛や運動の機会が減少している方に向けて、「自宅でできる運動プログラム（症状別・疾患別のプログラム）」を公開 [保健医療学部理学療法学科]
7. 10	自宅で“筋活”をおこなってロコモ予防を！ 筋肉量と筋力の向上を目指す「ロコモ予防運動プログラム」が始動 無料登録の会員限定でトレーニング映像を公開 [大学院スポーツ健康科学研究科/COI プロジェクト室]

発信日	タイトル [部門]
7. 15	私立大学で初めて感染症分野 SATREPS 事業に順天堂大学の開発研究が採択 [微生物学]
7. 21	順天堂医院が患者さんの待ち時間削減に向けて「お薬配送サービス」を導入 ～「あとクレ」との併用で、混雑時 1 時間以上の待ち時間を削減～ [順天堂医院]
7. 22	飲食店等における新型コロナウイルスの市中感染拡大の防止策に関する調査研究を 開始 ～マスク・手指消毒・喫煙行動・換気に着目した、新しいコロナ対策の提言へ～ [公衆衛生学]
8. 12	AI 温度検知ソリューションを順天堂大学が導入 [総務部総務課]
8. 14	ポストコロナ時代にも自宅で“筋力アップ”を！ロコモ予防のためのトレーニングを 学ぶ「順大さくら“筋活”講座」の第 2 回オンライン公開講座を開催 [大学院スポーツ健康科学研究科/COI プロジェクト室]
8. 27	花粉症予防アプリ「アレルサーチ」の 안드로이드 版を ResearchStack® を使って開 発！ iOS 版もアップデートして同時公開 ～「みんなの花粉症ダイアリー」機能を新搭載。患者・市民の声を採り入れたアプ リ研究を実現～ [眼科学]
9. 3	ドライアイを 5 分でチェックできるアプリ「ドライアイリズム」の 안드로이드 版 と iOS のアップデート版を同時リリース [眼科学]
9. 4	免疫抑制剤の要らない肝移植を普及させるための医師主導治験を開始 ～世界に先駆けた本邦発の画期的な再生医療「誘導型抑制性 T 細胞」を用いた新た な治療法の実現へ～ [免疫学/健康総合科学先端研究機構]
9. 8	順天堂医院・順天堂越谷病院「気分障害センター」を設置 [精神医学/順天堂医院]
9. 9	順天堂大学練馬病院のらくらく会計で会計待ち時間を削減 [放射線治療学/練馬病院医療情報センター]
9. 25	外国人診療に役立つ「やさしい日本語」の動画教材を公開 ～医療者が使えるフレーズを事例別に紹介～ [医学教育研究室]
9. 28	新型コロナウイルスによる肺炎 CT 画像の AI による解析手法開発 ～COVID-19 胸部 CT 画像典型度分類において 83.3% の精度を達成～ [放射線診断学]

発信日	タイトル [部門]
10. 9	「幸福100年社会を築く次世代医療エコシステムの実現」 第一回プロジェクトチーム会議を開催 [順天堂大学]
10.12	順天堂大学医学部附属練馬病院でパーキンソン病に対する脳深部刺激療法における世界初の最新治療機器を導入 [神経学/脳神経外科学/運動障害疾患病態研究・治療講座]
10.13	順天堂大学が外国人診療に役立つ「やさしい日本語」を医学部の授業で初実施～診療場面で活かすことを目指し、外国人模擬患者役の留学生を相手に実習～ [医学教育研究室]
10.14	競技復帰を目指すアスリートに自宅でできるリハビリ用トレーニング動画を公開～膝前十字靭帯再建術後の長期にわたる運動療法をサポート～ [スポーツ健康科学部/保健医療学部理学療法学科]
10.30	経済産業省「未来の教室」STEAM ライブラリー事業に採択～順天堂大学医学部人体病理病態学講座 小倉加奈子先任准教授の「おしゃべり病理医のMedit Laboー医学Medicine×編集Editで世界を読む」～ [練馬病院病理診断科]
11. 4	医学研究科に医療通訳者養成のための「ヘルスコミュニケーションコース」を開設～医療者と患者間のコミュニケーションを支援する、医療通訳者の養成を目指す～ [医学研究科]
11.18	順天堂大学とセルソースが共同研究講座「スポーツ医学・再生医療講座」を開設～運動器疾患の新規治療を開発し、健康寿命の延伸を目指す～ [医学研究科]
11.24	順天堂大学と JICA が連携協定を締結～保健医療分野における連携協力を強化～ [JUIC]
11.28	体操競技部 試技会の公開及び共同取材 [スポーツ健康科学部]
12. 2	上気道感染症の早期診断のための検査機器を開発 [耳鼻咽喉科学]
12. 8	順天堂大学と「スポーツを止めるな」がコロナ禍の中高生アスリートを応援！トップアスリートによるオンライントークを配信 [スポーツ健康科学部]
12.11	女性アスリートのコンディション管理をサポートするダイアリー「女性アスリートダイアリー (Female Athlete Diary)」を発売！ [女性スポーツ研究センター]

発信日	タイトル [部門]
12. 14	【第 97 回箱根駅伝出場】 順天堂大学陸上競技部 Zoom によるオンライン共同取材 [スポーツ健康科学部]
12. 15	順天堂医院 1 例目のハートシート治療を実施いたしました [順天堂医院心臓血管外科]
12. 15	順天堂 AI インキュベーションファーム（仮）における、AI ， ICT ， IoMT 等を活用した次世代医療エコシステム構築を目的テーマとした共同研究プロジェクトの公募案内 [順天堂大学]
12. 16	ロボットニューロリハビリテーション機器を用いた脳卒中後上肢麻痺の治療効果研究について共同研究契約を締結 [リハビリテーション医学]
12. 24	性感染症のセルフチェックができるアプリ「STI OMOIYARI」を公開 ～罹患の可能性がある性感染症を予測し医療機関への受診につなげる～ [総合診療科学]
3. 2. 17	スポーツと遺伝の関係は？ うまく泳ぐには？ コロナ禍で子どもの体力は？ スポーツの“今”がわかる公開講座・模擬授業をオンラインで開催 [スポーツ健康科学部]
2. 19	医学的知見に基づき建築から感染症拡大防止に寄与 ～「Pandemic Ready」の共同研究に着手～ [感染制御科学]
2. 24	国際的な産学連携で他家 T 細胞療法の実用化を目指す共同研究を開始 ～iPSC 技術を用いた難治性リンパ腫の新規治療開発へ期待～ [血液学講座]
2. 25	コロナ禍の大学生の体格・体力と運動・スポーツ活動に伴う生活の変化を調査 ～緊急事態宣言期間中でも 8 割以上の学生が自主的に運動を実施と回答。一方でスマホ・PC などの視聴時間は昨年よりも著しく増加～ [スポーツ健康科学部]
2. 25	コンタクトレンズの適正使用と管理ができるスマートフォンアプリ「コンタクトダイアリー®」の iOS 版をリリース ～ビッグデータ解析によりコンタクトレンズ装用による眼不快感の原因を解明～ [デジタル医療講座]
3. 1	世界初！花粉症予防アプリ「アレルサーチ®」でデジタル通貨による研究協力の謝礼金支払いシステムを導入 ～アレルサーチ®の研究参加で選べる電子マネーギフトのプレゼント～ [眼科学講座]

発信日	タイトル [部門]
3. 2	コロナ禍における高齢者の運動機能や認知機能の低下を防ぐため、遠隔デイサービスを実現するシステムの共同研究を開始 [高齢者医療センターメンタルクリニック]
3. 16	経済産業省「未来の教室」STEAM ライブラリー一般公開 ～順天堂大学医学部人体病理病態学講座 小倉加奈子先任准教授の「おしゃべり病理医の MEdit Lab－医学 Medicine×編集 Edit で世界を読む」も公開へ～ [練馬病院病理診断科]
3. 19	新型コロナウイルス感染症の早期診断に役立つ簡易嗅覚確認キットを開発 ～嗅覚確認キットによるセルフチェックが無症状感染者発見の一助に～ [耳鼻咽喉科学]
3. 25	順天堂大学と独立行政法人日本スポーツ振興センターが包括連携協定を締結 [スポーツ健康科学部]
3. 30	診療場面で使うフレーズを「やさしい日本語」に。 外国人診療に役立つ「やさしい日本語」医療者向けリーフレットが完成 [医学教育研究室]
3. 30	誰でも いますぐ 自宅で できる健康術 順天堂医院 健康スポーツ室監修 「長生き部屋トレ」が書籍化 [順天堂医院健康スポーツ室]

24. 中期的な計画の進捗・達成状況及び令和3年度事業計画策定

1. 中期的な計画の進捗・達成状況について

令和2年度から令和6年度までの事業に関する中期的な計画に対する当期の実施状況をホームページに公表しました。

(<https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/information.html>)

2. 令和3年度事業計画について

健康総合大学としての教育・研究・臨床の更なる向上を図るために、次の事項を令和3年度事業計画として策定しました。

【教育に関する計画】

- (1) 従来の授業形態にとらわれない新たな教育手法を確立し、より高い学修効果を得ることができる授業展開を推進する。
- (2) アドミッションセンターを軸として入学試験の改革を行い、志願者数の増加を図るとともに、引き続き適正な選考を実施する。
- (3) 厳しい環境の中でも学生一人ひとりが希望を実現できるように、個別対応による就職支援を中心に学生支援の充実を図る。
- (4) 令和4年度浦安日の出キャンパスに新学部（医療科学部（仮称））を開設し、次代を担う人材を養成する。
- (5) 専門分野の性質及び教育課程に応じて、学生の学修成果を適切に把握・評価することができる評価方法や指標を導入する。

【研究に関する計画】

- (6) 基礎研究の基盤強化・充実を図り、寄付講座・共同研究講座や科学研究費補助金等の外部資金獲得に向けた支援を組織的に行うとともに、その成果を国内外に広く還元する。
- (7) 若手研究者の育成や女性研究者躍進のための支援の充実を図る。
- (8) 学術誌への掲載論文数及び被引用数並びに科研費等競争的資金獲得件数の増加のため研究支援職者（URA）による情報収集・発信、応募支援等を行う。

【社会貢献・社会連携に関する計画】

- (9) オープンイノベーション（GAUDI）を推進し、産学連携による知の拠点としてイノベーションを創出するための体制整備を行う。
- (10) 国外の大学との共同研究や人材交流を活性化する。

【臨床に関する計画】

- (11) 高度先進医療の更なる充実と地域医療への貢献を軸として各附属病院の特色を活かした医療を実践する。
- (12) 国又は自治体のワクチン接種や臨床研究を始めとしたプロジェクトに積極的に協力し、COVID-19 克服に向けた取組みを推進する。

25. 令和2年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算書

(収入の部)

単位：百万円

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	9,596	9,600	△ 4
手数料収入	561	490	71
寄付金収入	1,490	1,893	△ 403
補助金収入	10,694	16,433	△ 5,739
資産売却収入	18,113	15,435	2,679
付随事業・収益事業収入	3,720	5,255	△ 1,536
医療収入	145,531	146,752	△ 1,220
受取利息・配当金収入	136	161	△ 26
雑収入	2,192	2,327	△ 135
借入金等収入	3,020	3,060	△ 40
前受金収入	2,573	2,588	△ 15
その他の収入	26,616	27,629	△ 1,013
資金収入調整勘定	△ 28,775	△ 32,202	3,427
当年度資金収入合計	195,467	199,421	△ 3,954
前年度繰越支払資金	36,274	36,274	0
収入の部合計	231,740	235,694	△ 3,954

資金収入は、補正後予算(以下予算という)と比較し、約40億円上回り、約1,994億円となりました。主な要因として、国や地方自治体からの補助金や、企業等からの受託事業が増加したこと等があげられます。

(支出の部)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人件費支出	63,954	64,097	△ 143
教育研究経費支出	25,776	25,884	△ 109
医療経費支出	64,505	66,321	△ 1,816
管理経費支出	4,894	4,759	136
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	3,630	3,610	20
施設関係支出	18,686	18,074	611
設備関係支出	8,335	6,865	1,469
資産運用支出	650	638	12
その他の支出	13,100	13,244	△ 144
予備費	1,643	0	1,643
資金支出調整勘定	△ 12,112	△ 16,231	4,118
当年度資金支出合計	193,060	187,263	5,797
次年度繰越支払資金	38,681	48,431※2	△ 9,751
支出の部合計	231,740	235,694	△ 3,954
当年度資金収支差額	2,407	12,158※1	△ 9,751

資金支出は、予算と比較し約58億円下回り、約1,873億円となりました。主な要因としては、医療機器等の購入を翌年度以降に繰り延べたことや、期末の教育活動や設備整備事業に対する実際の支払いが翌期になったこと等があげられます。

当年度資金収支差額※1は約122億円のプラスとなり、次年度繰越支払資金※2は約484億円となりました。

(2) 事業活動収支計算書

単位：百万円

		科 目	R02年度決算	R01年度決算	差 異
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	9,600	8,841	758
		手数料	490	532	△ 42
		寄付金	1,875	1,663	212
		経常費等補助金	15,436	6,719	8,717
		付随事業収入	5,255	4,502	753
		医療収入	146,752	152,493	△ 5,741
		雑収入	2,368	2,532	△ 164
	教育活動収入 計		181,775	177,283	4,493
	事業活動支出の部	人件費	65,439	63,108	2,331
		(退職給与引当金繰入額)	(2,928)	(2,846)	(82)
教育研究経費		39,190	38,056	1,134	
(減価償却額)		(13,300)	(12,530)	(769)	
医療経費		66,172	65,300	872	
管理経費		5,437	5,194	243	
(減価償却額)		(683)	(634)	(49)	
徴収不能額等		80	55	25	
教育活動支出 計		176,318	171,713	4,605	
教育活動収支差額		5,457	5,569	△ 112	
教育活動外収入の部	収入の活動	受取利息・配当金	161	166	△ 4
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入 計		161	166	△ 4
	支出の活動	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出 計		0	0	0	
教育活動外収支差額		161	166	△ 4	
経常収支差額		5,618	5,735	△ 117	
特別収支	収入の活動	資産売却差額	0	0	△ 0
		その他の特別収入	1,166	405	762
	特別収入 計		1,166	405	762
	支出の活動	資産処分差額	45	798	△ 753
		その他の特別支出	5	8	△ 3
特別支出 計		50	807	△ 756	
特別収支差額		1,116	△ 402	1,518	
予備費		0	0	0	
基本金組入前当年度収支差額		6,734	5,333	1,401	
基本金組入額合計		△ 19,035	△ 14,067	△ 4,968	
当年度収支差額		△ 12,301	△ 8,733	△ 3,567	
前年度繰越収支差額		△ 88,539	△ 79,806	△ 8,733	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 100,840	△ 88,539	△ 12,301	
(参考)					
事業活動収入 計		183,103	177,853	5,250	
事業活動支出 計		176,369	172,520	3,849	

教育活動収入は、約 1,818 億円となり、前年度と比較すると約 45 億円増加しました。主な要因として、国や地方自治体からの補助金が増加したこと等があげられます。

教育活動支出は、約 1,763 億円となり、前年度と比較すると約 46 億円増加しました。主な要因は以下の通りです。

- ① 建替えや設備の新規取得に伴う減価償却費の増加。
- ② 高度先進医療の実施に伴う高額薬品費や、感染症流行に伴う検査費等の医療経費の増加。
- ③ 診療体制を更に充実させるため医療スタッフを増員したことによる人件費の増加。

経常的な収支を表す経常収支差額は、前年度と比較すると支出の増加が収入の増加を約 1 億円上回り、約 56 億円になりました。

基本金組入前当年度収支差額は、前年度より約 14 億円増加して、約 67 億円となりました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

単位：百万円

科 目	R02年度決算	R01年度決算	増 減
固 定 資 産	241,167	231,464	9,702
有形固定資産	213,552	202,400	11,152
土地	58,375	57,797	578
建物	109,867	103,405	6,462
その他の有形固定資産	45,310	41,198	4,112
特定資産	12,703	12,233	470
その他の固定資産	14,912	16,831	△1,920
流 動 資 産	81,530	79,842	1,688
現金預金	48,431	36,274	12,158
その他の流動資産	33,099	43,568	△10,470
資 産 の 部 合 計	322,696	311,306	11,391

固定資産のうち有形固定資産は、各施設での再編事業の進行や機器の取得により増加しました。
流動資産のうち現金預金は、有価証券を取り崩したことにより増加しました。

総資産は、前年度より約114億円増加して、約3,227億円となりました。

(負債の部)

科 目	R02年度決算	R01年度決算	増 減
固 定 負 債	31,982	29,981	2,001
長期借入金	0	0	0
学校債	3,470	2,760	710
その他の固定負債	28,512	27,221	1,291
流 動 負 債	23,162	20,507	2,655
短期借入金	0	0	0
短期学校債	1,320	2,580	△1,260
その他の流動負債	21,842	17,927	3,915
負 債 の 部 合 計	55,144	50,488	4,656

負債は、約551億円と前年度対比で約47億円の増加となりました。
主な要因について、その他の固定負債は教職員の増加に伴い退職給与引当金が増加、その他の流動負債は資金支出が翌期にずれ込んだことによる未払金の増加等があげられます。

(純資産の部)

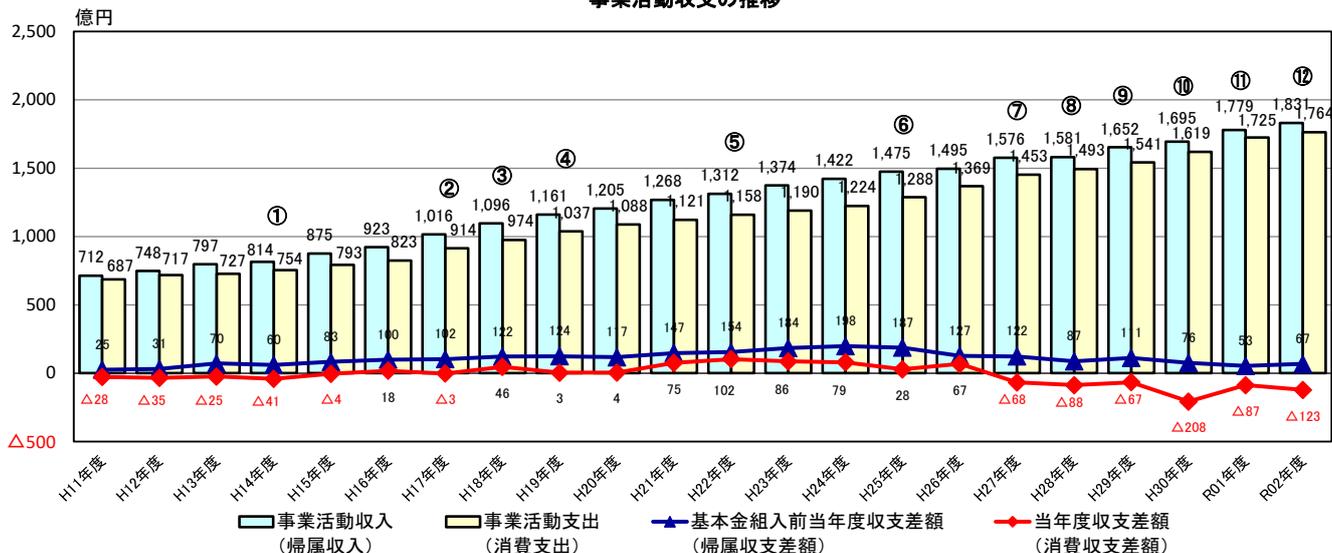
科 目	R02年度決算	R01年度決算	増 減
基本金	368,392	349,357	19,035
第1号基本金	354,959	336,640	18,319
第2号基本金	483	483	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	12,950	12,234	716
繰越収支差額	△100,840	△88,539	△12,301
翌年度繰越収支差額	△100,840	△88,539	△12,301
純資産の部合計	267,552	260,818	6,734
負債及び純資産の部合計	322,696	311,306	11,391

基本金は、固定資産取得等により約190億円増加して、約3,684億円となりました。

純資産の部は、基本金組入前当年度収支差額が約67億円増加して、約2,676億円となりました。

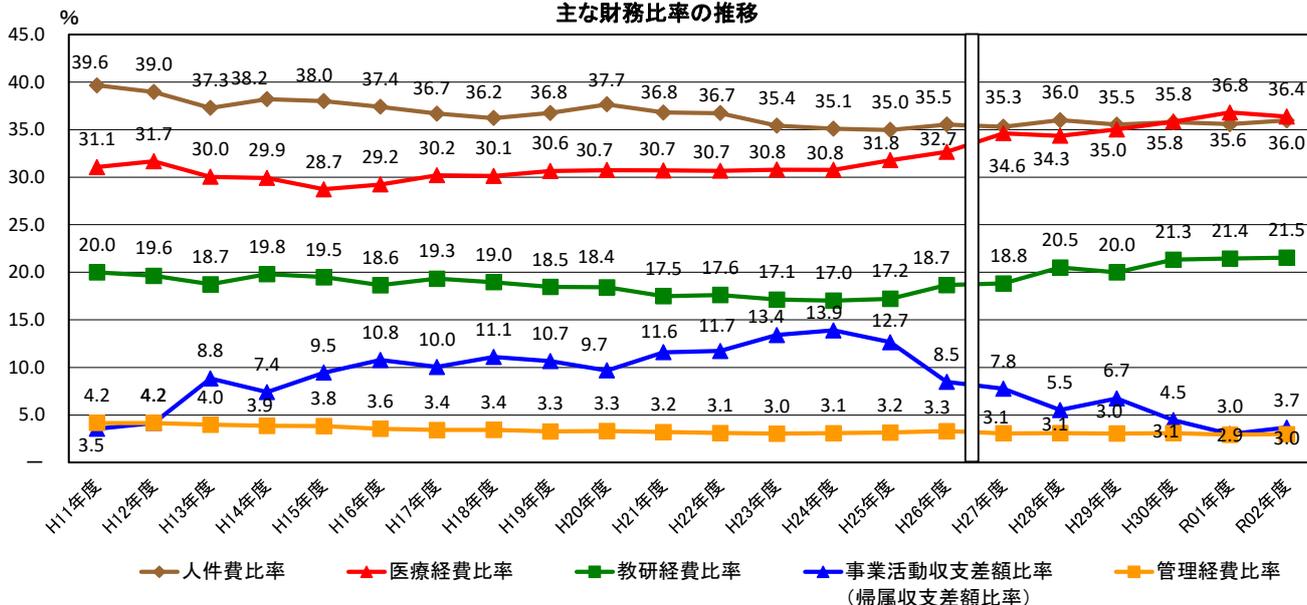
26. 財務状況の推移

事業活動収支の推移



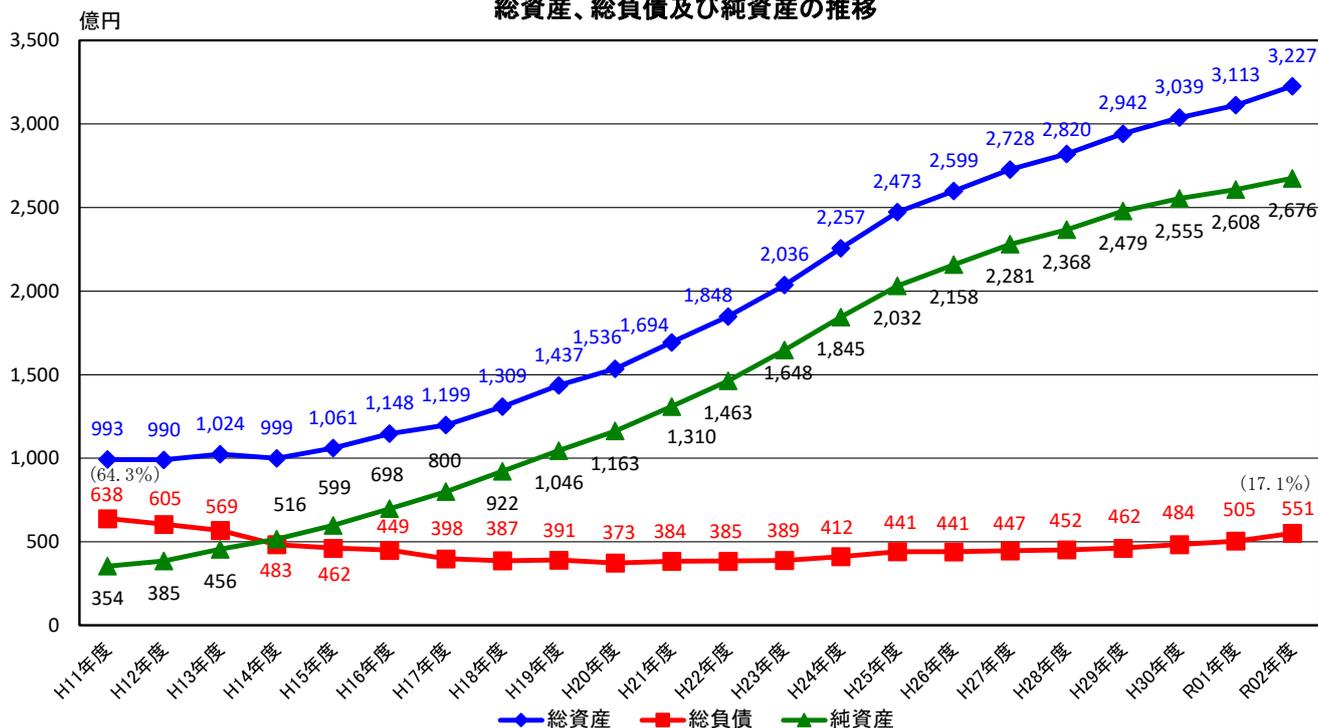
教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。
 ①平成 14 年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院、②平成 17 年度 練馬病院開院、③平成 18 年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、④平成 19 年度 スポーツロジセンター設立、⑤平成 22 年度 静岡県三島市に保健看護学部開設、⑥平成 25 年度 順天堂医院 B 棟 I 期竣工、⑦平成 27 年度 国際教養学部開設、⑧平成 28 年度 順天堂医院 B 棟 II 期・C 棟竣工、さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床、⑨平成 29 年度 浦安病院 3 号館竣工、⑩平成 30 年度 新研究棟 (A 棟 I 期) 竣工、⑪令和元年度 保健医療学部開設、練馬病院 3 号館竣工、⑫令和 2 年度 新研究棟 (A 棟 II 期) 竣工、さくらキャンパス新講義棟・新女子寮が竣工しました。

主な財務比率の推移



上記は財務比率の推移を示しています。平成 27 年度以降は学校法人会計基準改正に伴い上記の比率のうち、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母が従来の帰属収入 (新基準の事業活動収入) から経常収入に変更されています。平成 24 年度以降、教育研究経費比率が増加していますが、全学的な再編事業に伴う費用の増加や、新施設竣工に伴う減価償却費の増加等が主な要因です。

総資産、総負債及び純資産の推移

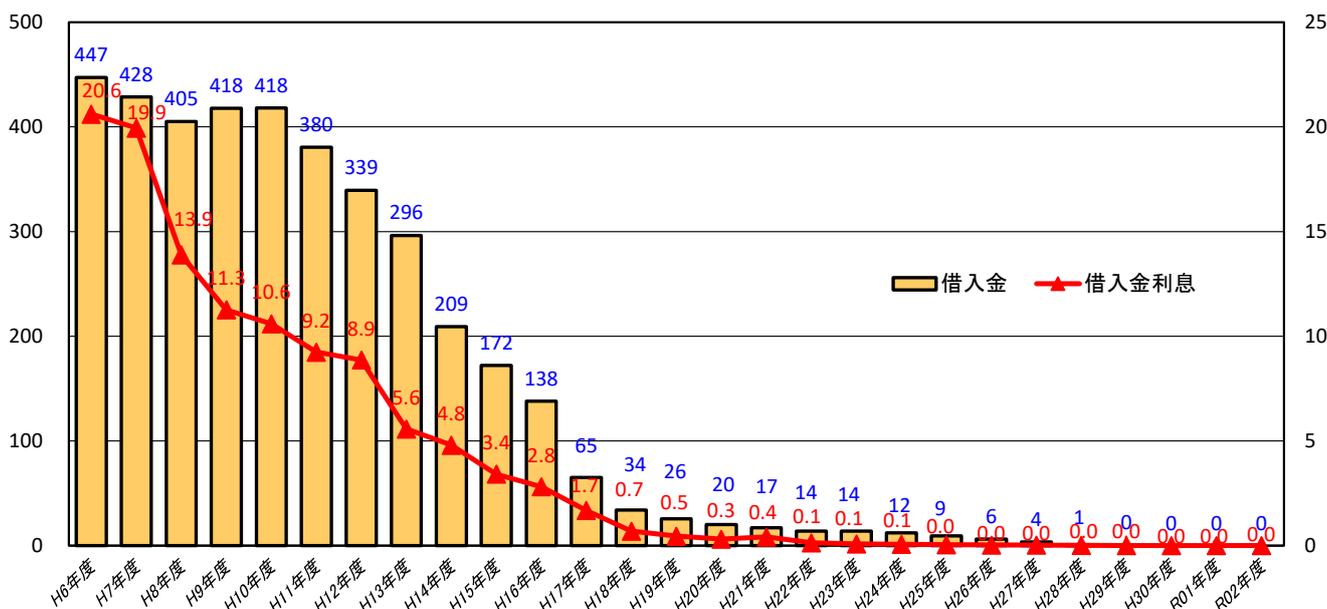


上記のグラフは総資産、総負債、純資産（平成 27 年度学校法人会計基準改正以降の呼称）の推移を示しています。平成 5 年に竣工した順天堂医院 1 号館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成 13 年度まで総負債が純資産を上回っていました。その後は堅調な事業活動収支差額（帰属収支差額）を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率（総負債／総資産）は平成 11 年度の 64.3%から令和 2 年度には 17.1%と、大幅に改善しています。

借入金残高
単位：億円

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

借入金利息
単位：億円



総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。令和 2 年度末時点で金融機関等からの借入は無く、健全な運営状態を維持しております。



Juntendo, Tokyo, Established 1838